

# ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型)

## ～ハイイールドファンド～

米ドル・コース (毎月分配型)  
豪ドル・コース (毎月分配型)

第149期 (決算日 2023年5月12日)  
第150期 (決算日 2023年6月12日)  
第151期 (決算日 2023年7月12日)  
第152期 (決算日 2023年8月14日)  
第153期 (決算日 2023年9月12日)  
第154期 (決算日 2023年10月12日)

ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)  
日本円・コース (毎月分配型)

第151期 (決算日 2023年5月12日)  
第152期 (決算日 2023年6月12日)  
第153期 (決算日 2023年7月12日)  
第154期 (決算日 2023年8月14日)  
第155期 (決算日 2023年9月12日)  
第156期 (決算日 2023年10月12日)

南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型)  
トルコ・リラ・コース (毎月分配型)  
通貨セレクト・コース (毎月分配型)

第130期 (決算日 2023年5月12日)  
第131期 (決算日 2023年6月12日)  
第132期 (決算日 2023年7月12日)  
第133期 (決算日 2023年8月14日)  
第134期 (決算日 2023年9月12日)  
第135期 (決算日 2023年10月12日)

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先 (コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00～17:00)

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<4793>  
<4794>  
<4766>  
<4767>  
<5730>  
<5731>  
<5732>

# ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ～ハイイールドファンド～ 米ドル・コース (毎月分配型)

&lt;4793&gt;

追加型投信／海外／債券  
日経新聞掲載名：米高利債米

第149期	2023年5月12日決算	第152期	2023年8月14日決算
第150期	2023年6月12日決算	第153期	2023年9月12日決算
第151期	2023年7月12日決算	第154期	2023年10月12日決算

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米ドル建ての高金利社債に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第154期末	基準価額	10,354円
	純資産総額	845百万円
第149期～第154期	騰落率	11.5%
	分配金合計	480円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先

 コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)  
**0120-106212**

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

**UD  
FONT**

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

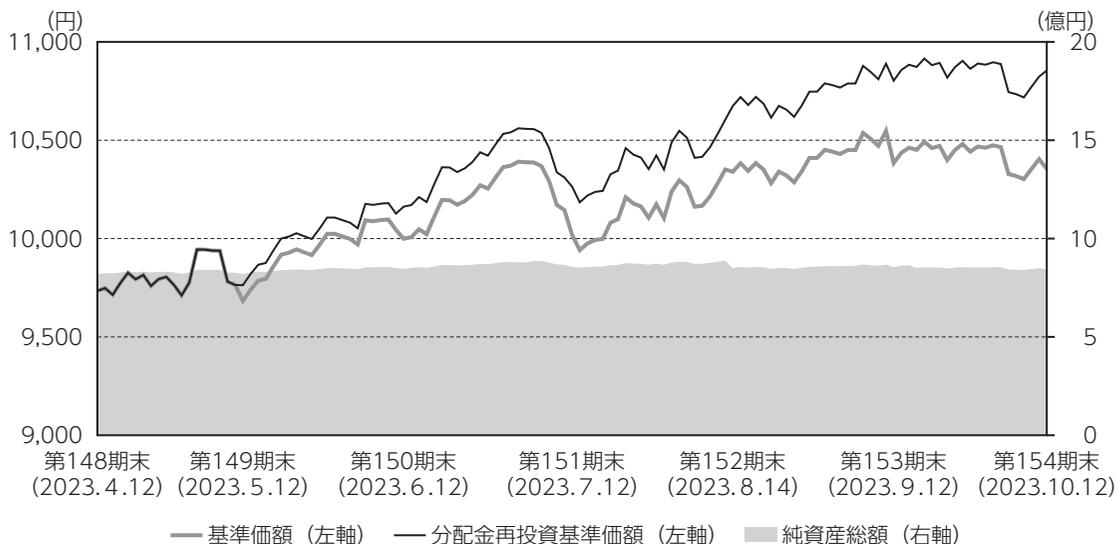
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- \* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- \* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

### 基準価額・騰落率

第149期首： 9,734円  
 第154期末： 10,354円（既払分配金480円）  
 騰落率： 11.5%（分配金再投資ベース）

### 基準価額の主な変動要因

「GIM・USハイ・イールド（USDクラス）」への投資を通じて、米ドル建てのハイ・イールド債券に投資を行いました。米ドルが対円で上昇（円安）したことやハイ・イールド債券価格の上昇、債券からの利息収入がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※GIM・USハイ・イールド（USDクラス）：GIM トラストーUSハイ・イールド・ボンド・ファンド USDクラス

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第149期～第154期 (2023.4.13～2023.10.12)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	60円	0.593%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,163円です。
(投 信 会 社)	(22)	(0.220)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(36)	(0.357)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	61	0.597	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

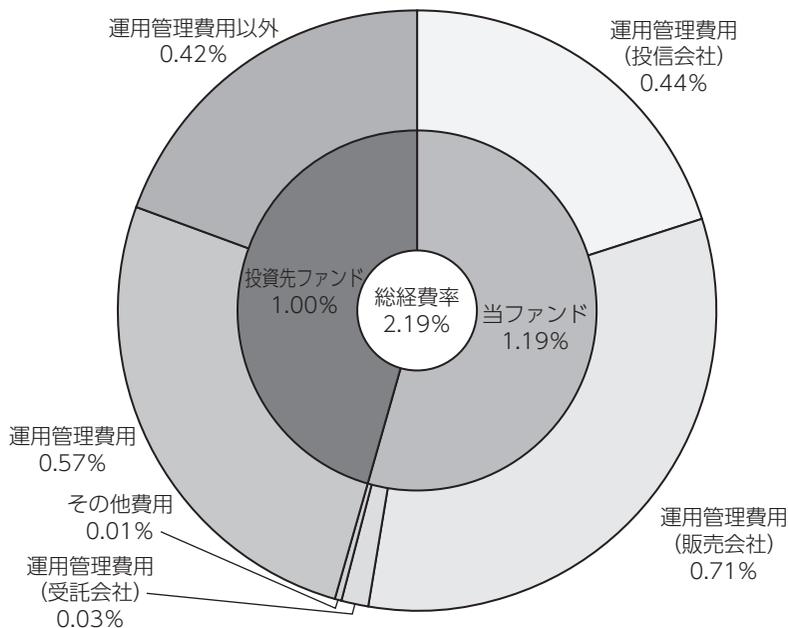
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.19%です。



総経費率 (①+②+③)	2.19%
①当ファンドの費用の比率	1.19%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.57%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.42%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2018年10月12日の基準価額をもとに指数化したものです。

\*参考指数はICE BofA US High Yield Constrained Index (円換算) です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

	2018年10月12日 期初	2019年10月15日 決算日	2020年10月12日 決算日	2021年10月12日 決算日	2022年10月12日 決算日	2023年10月12日 決算日
基準価額 (円)	11,013	10,279	9,341	10,228	10,577	10,354
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	960	960	960	960	960
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	2.2	0.5	20.6	13.4	7.7
ICE BofA US High Yield Constrained Index (円換算) 騰落率 (%)	—	3.7	1.1	17.8	11.6	11.4
純資産総額 (百万円)	1,642	1,350	772	724	848	845

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) ICE BofA US High Yield Constrained Index (円換算) は、ICE BofA US High Yield Constrained Index (米ドルベース) をもとに、大和アセットマネジメントが円換算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

## 投資環境について

(2023.4.13~2023.10.12)

### ■米国ハイ・イールド債券市況

米国ハイ・イールド債券市況は上昇しました。

米国ハイ・イールド債券市況は、当作成期首から2023年5月下旬にかけて、F R B（米国連邦準備制度理事会）による利上げの実施や早期の引き締め終了期待のはく落により下落しました。その後、7月中旬にかけては、米国の債務上限問題が解決したことや経済指標で米国経済の底堅さが確認されたことなどを背景にリスク選好姿勢が強まり上昇しました。しかし8月中旬にかけては、米国国債の増発や格下げが嫌気されたことから市況は下落しました。9月中旬にかけては、懸念されていたジャクソンホール会議でのF R B議長公演を無難に通過したことや軟調な経済指標を受けて利上げ期待が後退したことから上昇しました。当作成期末にかけては、F R Bによる金融引き締め環境の長期化などが嫌気され、市況は下落しました。

### ■為替相場

米ドル為替相場は、対円で上昇しました。

米ドルの対円為替相場は、当作成期首より、信用不安の後退や経済指標の上振れなどを背景に米国金利が上昇するに連れて、上昇基調となりました。2023年6月に入ると、F R B（米国連邦準備制度理事会）が政策金利見通しを引き上げた一方で、日銀は現状の金融緩和政策の維持を決定したことなどから、米ドルは対円での上昇幅を拡大しました。その後は、日本の政府要人等による円安けん制発言や日銀の政策運営の柔軟化決定を受けて米ドルは対円で下落（円高）する場面もありましたが、再度米国金利が上昇基調となると、円は弱含む展開となりました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

主として、「G I M・U Sハイ・イールド（U S Dクラス）」への投資割合を高位に保つことによって、米国ハイ・イールド債券からの収益や、米ドルの為替値上がり利益の獲得をめざします。

### ■G I M・U Sハイ・イールド（U S Dクラス）

主として米ドル建てのハイ・イールド債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。ハイ・イールド債券の組み入れに際しては、ボトムアップ分析に基づく個別銘柄選択を重視した運用を継続する方針です。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2023.4.13~2023.10.12)

### ■当ファンド

当ファンドは、「GIM・USハイ・イールド（USDクラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じて「GIM・USハイ・イールド（USDクラス）」への投資割合を高位に維持しました。

### ■GIM・USハイ・イールド（USDクラス）

主として米ドル建てのハイ・イールド債券を中心に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。ハイ・イールド債券の組み入れに際しては、引き続きボトムアップ分析に基づく個別銘柄選択を重視した運用を行いました。

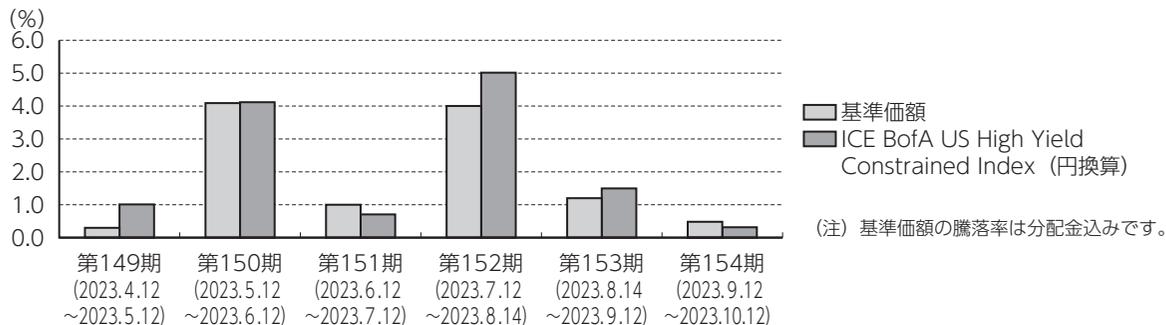
### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第149期	第150期	第151期	第152期	第153期	第154期
	2023年4月13日 ～2023年5月12日	2023年5月13日 ～2023年6月12日	2023年6月13日 ～2023年7月12日	2023年7月13日 ～2023年8月14日	2023年8月15日 ～2023年9月12日	2023年9月13日 ～2023年10月12日
当期分配金（税込み）（円）	80	80	80	80	80	80
対基準価額比率（％）	0.82	0.79	0.79	0.77	0.76	0.77
当期の収益（円）	62	70	61	70	69	66
当期の収益以外（円）	17	9	18	9	10	13
翌期繰越分配対象額（円）	4,511	4,501	4,483	4,474	4,463	4,449

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注4）投資信託の計上上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第149期	第150期	第151期	第152期	第153期	第154期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 62.55円	✓ 70.11円	✓ 61.01円	✓ 70.73円	✓ 69.02円	✓ 66.27円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	3,927.00	3,931.59	3,941.17	3,944.12	3,947.38	3,950.75
(d) 分配準備積立金	✓ 601.90	✓ 579.95	✓ 561.11	✓ 539.23	✓ 526.81	✓ 512.50
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	4,591.46	4,581.65	4,563.30	4,554.09	4,543.22	4,529.54
(f) 分配金	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	4,511.46	4,501.65	4,483.30	4,474.09	4,463.22	4,449.54

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

主として、「GIM・USハイ・イールド（USDクラス）」への投資割合を高位に保つことによって、米国ハイ・イールド債券からの収益や、米ドルの為替値上がり益の獲得をめざします。

### ■GIM・USハイ・イールド（USDクラス）

主として米ドル建てのハイ・イールド債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。ハイ・イールド債券の組み入れに際しては、ボトムアップ分析に基づく個別銘柄選択を重視した運用を継続する方針です。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。



## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2010年12月17日～2025年10月10日	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	①ケイマン籍の外国投資信託「GIM トラストーUSハイ・イールド・ボンド・ファンド USDクラス」(以下「GIM・USハイ・イールド (USDクラス)」)といひます。)の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネー・マザーファンド	本邦通貨表示の公社債
当ファンドの運用方法	①主として、GIM・USハイ・イールド (USDクラス) の受益証券を通じて、米ドル建てのハイ・イールド債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②当ファンドは、GIM・USハイ・イールド (USDクラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態では、GIM・USハイ・イールド (USDクラス) への投資割合を信託財産の純資産総額の90%程度以上とすることを基本とします。 ③GIM・USハイ・イールド (USDクラス) では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。	
マザーファンドの運用方法	①わが国の公社債を中心に安定運用を行ないます。 ②邦貨建資産の組み入れにあたっては、取得時に第二位 (A-2格相当) 以上の短期格付であり、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないことがあります。また、第1および第2計算期末には、収益の分配は行ないません。	

Source ICE Data Indices, LLC is used with permission. ICE® is a registered trademark of ICE Data Indices, LLC or its affiliates and BofA® is a registered trademark of Bank of America Corporation licensed by Bank of America Corporation and its affiliates ("BofA"), and may not be used without BofA's prior written approval. The index data referenced herein is the property of ICE Data Indices, LLC, its affiliates ("ICE Data") and/or its third party suppliers and, along with the ICE BofA trademarks, has been licensed for use by Daiwa Asset Management Co. Ltd. ICE Data and its Third Party Suppliers accept no liability in connection with the use of such index data or marks. See [<https://www.daiwa-am.co.jp/funds/disclaimer/index.html>] for a full copy of the Disclaimer.

出所：ICE Data Indices, LLC (以下「ICEデータ」)

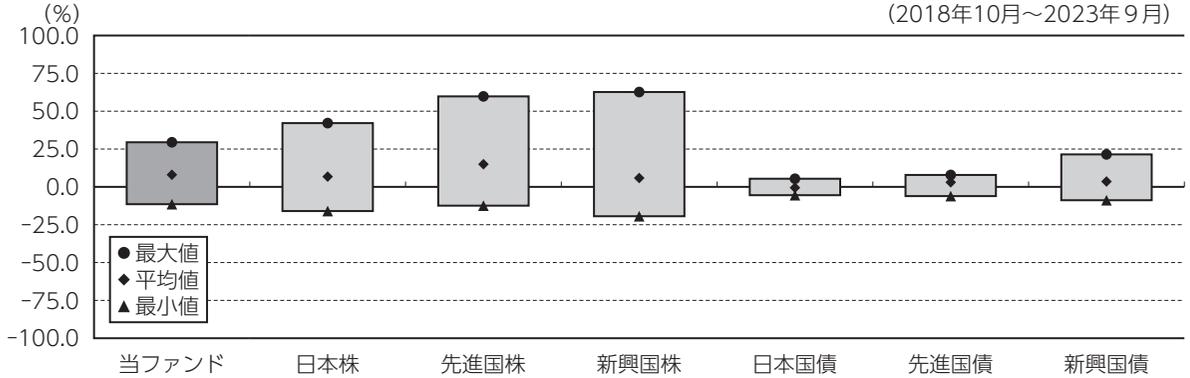
"ICE"はICEデータまたはその関連会社のサービス/トレードマークです。「BOFA®」は、Bank of America Corporationとその関連会社である「BOFA」の登録商標であり、BOFAの書面による事前承認なしに使用することはできません。本書で言及されているインデックスデータは、ICE BofAの登録商標と併せて、ICEデータ、その関連会社またはその第三者供給元の所有物であり、大和アセットマネジメント株式会社に対して使用許諾されています。ICEデータおよびその第三者供給元は、当該インデックスデータまたはマークの使用に関して、いかなる責任も負いません。免責事項の全文は [<https://www.daiwa-am.co.jp/funds/disclaimer/index.html>] をご覧ください。

In the event of any inconsistency between the English version and the Japanese version of this disclaimer, the English version shall prevail.



# 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2018年10月～2023年9月)



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	29.5	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
平均値	8.0	6.8	15.0	5.9	△0.6	3.0	3.5
最小値	△11.4	△16.0	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………J.P.モルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社J.P.X総研または株式会社J.P.X総研の関連会社（以下「J.P.X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJ.P.Xが有します。J.P.Xは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任を負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>）●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●J.P.モルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性、正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



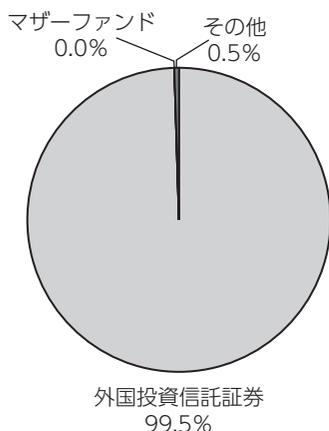
# ファンドデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

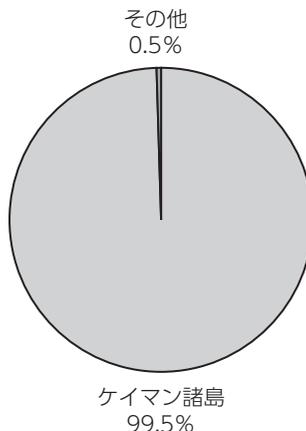
### 組入ファンド等

	比率
GIM・USハイ・イールド（USDクラス）	99.5%
ダイワ・マネー・マザーファンド	0.0%
その他	0.5%

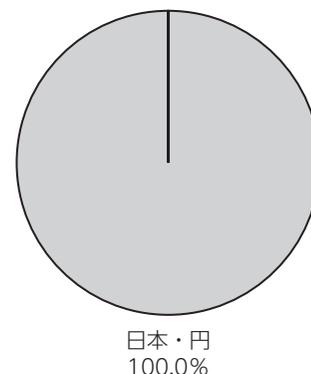
### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



(注1) 上記データは2023年10月12日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

## 純資産等

項 目	第149期末	第150期末	第151期末	第152期末	第153期末	第154期末
	2023年5月12日	2023年6月12日	2023年7月12日	2023年8月14日	2023年9月12日	2023年10月12日
純資産総額	819,164,832円	846,789,002円	855,489,044円	848,970,288円	854,207,200円	845,117,318円
受益権総口数	845,953,432口	846,840,793口	853,826,933口	821,086,875口	822,601,066口	816,205,730口
1万口当り基準価額	9,683円	9,999円	10,019円	10,340円	10,384円	10,354円

\* 当作成期間（第149期～第154期）中における追加設定元本額は42,618,283円、同解約元本額は66,483,443円です。

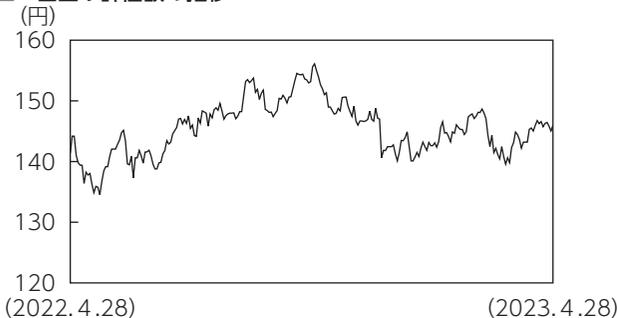
\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

## 組入上位ファンドの概要

### ◆ GIM・USハイ・イールド（USDクラス）（作成対象期間 2022年4月29日～2023年4月28日）

※直近で入手可能なFinancial Statements作成期間です。

#### ■ 1口当り評価額の推移



(注1) 1口当り評価額は、分配金を再投資したものとみなして計算しています。  
 (注2) 国内の営業日の評価額を記載しています。

#### ■ 組入上位銘柄

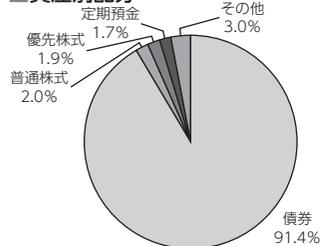
銘柄名	通貨	比率
Cooper-Standard Automotive, Inc. 13.50% due 03/31/27	米ドル	1.7%
Claire's Stores, Inc.	米ドル	1.6
Bausch Health Cos, Inc. 9.00% due 12/15/25	米ドル	1.3
CCO Holdings LLC / CCO Holdings Capital Corp. 5.13% due 05/01/27	米ドル	1.0
DISH DBS Corp. 5.88% due 11/15/24	米ドル	1.0
Tenet Healthcare Corp. 4.88% due 01/01/26	米ドル	0.9
Nexstar Media, Inc. 5.63% due 07/15/27	米ドル	0.9
CCO Holdings LLC / CCO Holdings Capital Corp. 4.25% due 02/01/31	米ドル	0.9
Albertsons Cos, Inc. / Safeway, Inc. / New Albertsons LP / Albertsons LLC 4.63% due 01/15/27	米ドル	0.8
Intelsat Jackson Holdings S.A. 6.50% due 03/15/30	米ドル	0.7
組入銘柄数		518銘柄

(注) 比率は純資産に対する比率です。

#### ■ 1口当りの費用の明細

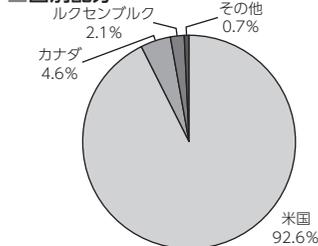
当ファンドの単位口数当りの費用のデータは取得できないため、記載しておりません。

#### ■ 資産別配分



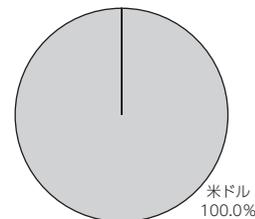
(注) 比率は純資産に対する比率です。

#### ■ 国別配分



(注) 比率は投資総額に対する比率です。

#### ■ 通貨別配分



(注) 比率は投資総額に対する比率です。

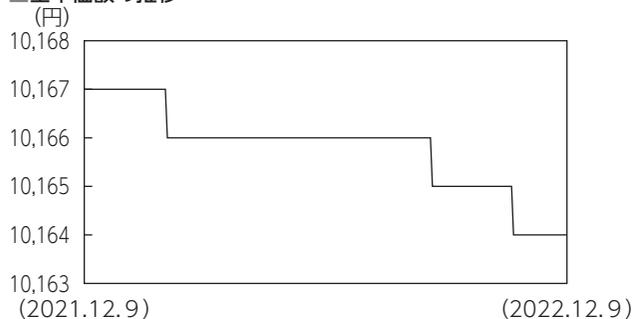
\*組入上位銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、作成対象期間末時点のデータです。

\*組入上位銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、「GIM・USハイ・イールド」の運用会社等からの情報提供をもとに作成したものであり、運用報告書（全体版）の情報とは異なる場合があります。

\*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

◆ダイワ・マネー・マザーファンド（作成対象期間 2021年12月10日～2022年12月9日）

■基準価額の推移



■1万口当りの費用の明細

項	目	
売買委託手数料		-円
有価証券取引税		-
その他費用		-
合	計	-

■組入資産

2022年12月9日現在、有価証券等の組み入れはありません。

(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものです。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

# ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型)～ハイイールドファンド～ 豪ドル・コース (毎月分配型)

&lt;4794&gt;

追加型投信／海外／債券  
日経新聞掲載名：米高利債豪

第149期	2023年5月12日決算	第152期	2023年8月14日決算
第150期	2023年6月12日決算	第153期	2023年9月12日決算
第151期	2023年7月12日決算	第154期	2023年10月12日決算

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米ドル建ての高金利社債に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第154期末	基準価額	4,846円
	純資産総額	562百万円
第149期～第154期	騰落率	6.7%
	分配金合計	120円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先

 コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)  
**0120-106212**

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

**UD  
FONT**

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

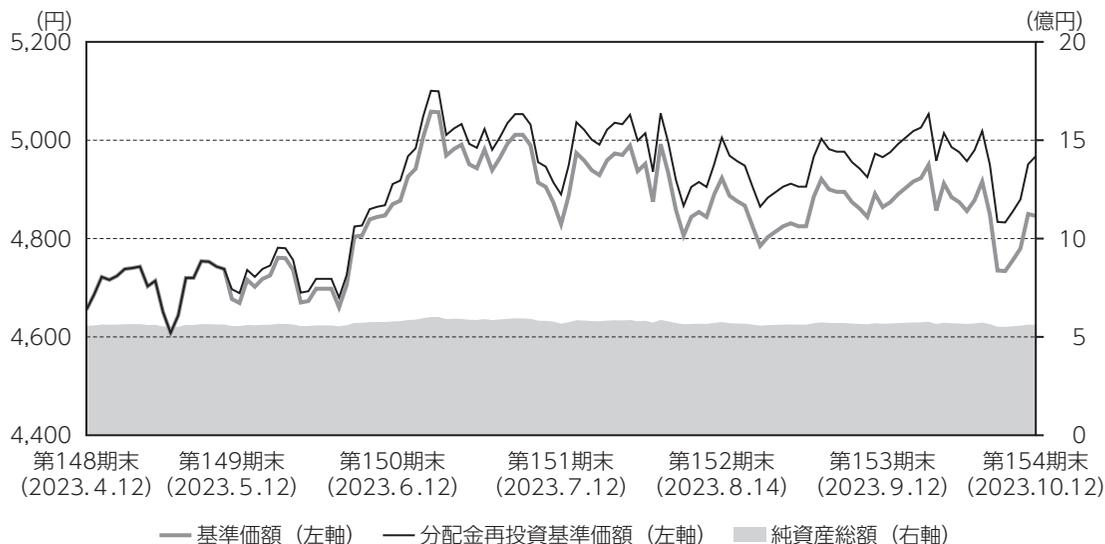
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

### 基準価額・騰落率

第149期首：4,655円

第154期末：4,846円（既払分配金120円）

騰落率：6.7%（分配金再投資ベース）

### 基準価額の変動要因

「GIM・USハイ・イールド（AUDクラス）」への投資を通じて、米ドル建てのハイ・イールド債券に投資し、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を行いました。豪ドルが対円で上昇（円安）したことやハイ・イールド債券価格の上昇、債券からの利息収入がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※GIM・USハイ・イールド（AUDクラス）：GIM トラストーUSハイ・イールド・ボンド・ファンド AUDクラス

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第149期～第154期 (2023.4.13～2023.10.12)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	29円	0.592%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は4,841円です。
(投 信 会 社)	(11)	(0.220)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(17)	(0.357)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	－	－	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	29	0.596	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

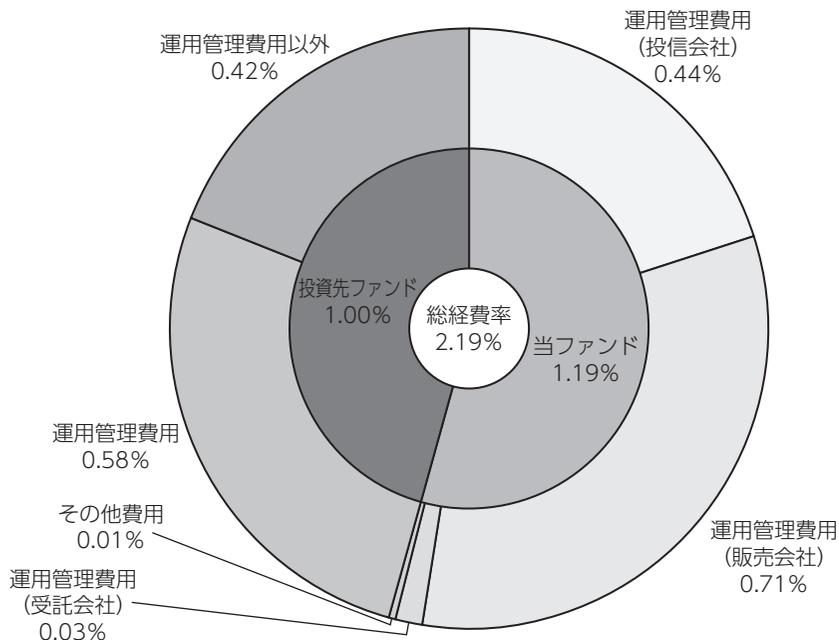
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.19%です。



総経費率 (①+②+③)	2.19%
①当ファンドの費用の比率	1.19%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.58%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.42%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

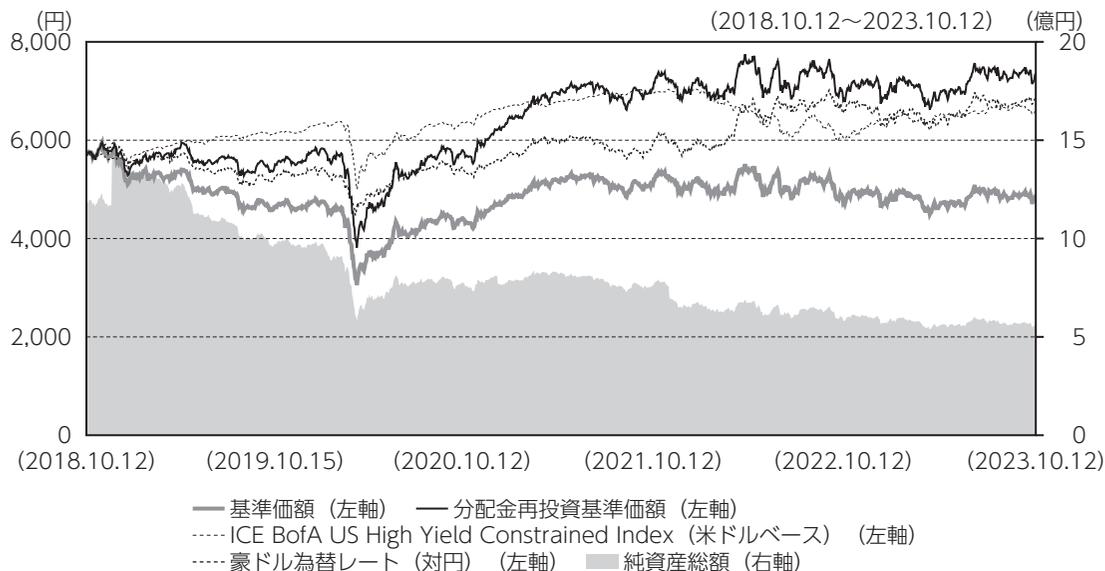
(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2018年10月12日の基準価額をもとに指数化したものです。

\*参考指数はICE BofA US High Yield Constrained Index (米ドルベース) および豪ドル為替レート (対円) です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

	2018年10月12日 期初	2019年10月15日 決算日	2020年10月12日 決算日	2021年10月12日 決算日	2022年10月12日 決算日	2023年10月12日 決算日
基準価額 (円)	5,715	4,649	4,413	5,115	4,712	4,846
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	880	440	240	240	240
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△3.6	5.2	21.6	△3.4	8.1
ICE BofA US High Yield Constrained Index (米ドルベース) 騰落率 (%)	—	7.3	3.7	9.7	△13.3	9.1
豪ドル為替レート (対円) 騰落率 (%)	—	△8.2	3.8	9.3	9.9	4.6
純資産総額 (百万円)	1,178	972	775	758	581	562

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) ICE BofA US High Yield Constrained Index (米ドルベース) 騰落率は、ICE BofA US High Yield Constrained Index (米ドルベース) の原データをもとに、大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は最近で知り得るデータを使用しております。

## 投資環境について

(2023.4.13~2023.10.12)

### ■米国ハイ・イールド債券市況

米国ハイ・イールド債券市況は上昇しました。

米国ハイ・イールド債券市況は、当作成期首から2023年5月下旬にかけて、F R B（米国連邦準備制度理事会）による利上げの実施や早期の引き締め終了期待のはく落により下落しました。その後、7月中旬にかけては、米国の債務上限問題が解決したことや経済指標で米国経済の底堅さが確認されたことなどを背景にリスク選好姿勢が強まり上昇しました。しかし8月中旬にかけては、米国国債の増発や格下げが嫌気されたことから市況は下落しました。9月中旬にかけては、懸念されていたジャクソンホール会議でのF R B議長公演を無難に通過したことや軟調な経済指標を受けて利上げ期待が後退したことから上昇しました。当作成期末にかけては、F R Bによる金融引き締め環境の長期化などが嫌気され、市況は下落しました。

### ■為替相場

豪ドル為替相場は、対円で上昇しました。

豪ドルの対円為替相場は、当作成期首より、R B A（オーストラリア準備銀行）が市場予想に反して政策金利の引き上げを決定したことや、米国の債務上限問題が解決し市場のリスク選好姿勢が強まったことなどから、円安豪ドル高となりました。その後、当作成期末にかけては、日本の政府要人等による円安けん制発言や日銀の政策運営の柔軟化が決定されたこと、中国経済への懸念などから、豪ドル円は頭の重い展開となりました。

### ■短期金利市況

R B A（オーストラリア準備銀行）は政策金利を0.50%ポイント引き上げ、4.10%としました。

F R B（米国連邦準備制度理事会）は政策金利の誘導目標レンジを0.50%ポイント引き上げ、5.25~5.50%としました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

主として、「G I M・USハイ・イールド（AUDクラス）」への投資割合を高位に保つことによつて、米ドル建てハイ・イールド債券からの収益のほか、豪ドルの為替値上がり益の獲得をめざします。

### ■G I M・USハイ・イールド（AUDクラス）

主として米ドル建てのハイ・イールド債券に投資し、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を行うことで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。ハイ・イールド債券の組み入れに際しては、ボトムアップ分析に基づく個別銘柄選択を重視した運用を継続する方針です。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2023.4.13~2023.10.12)

### 当ファンド

当ファンドは、「GIM・USハイ・イールド（AUDクラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じて「GIM・USハイ・イールド（AUDクラス）」への投資割合を高位に維持しました。

### GIM・USハイ・イールド（AUDクラス）

主として米ドル建てのハイ・イールド債券を中心に投資し、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を行うことで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。ハイ・イールド債券の組み入れに際しては、引き続きボトムアップ分析に基づく個別銘柄選択を重視した運用を行いました。

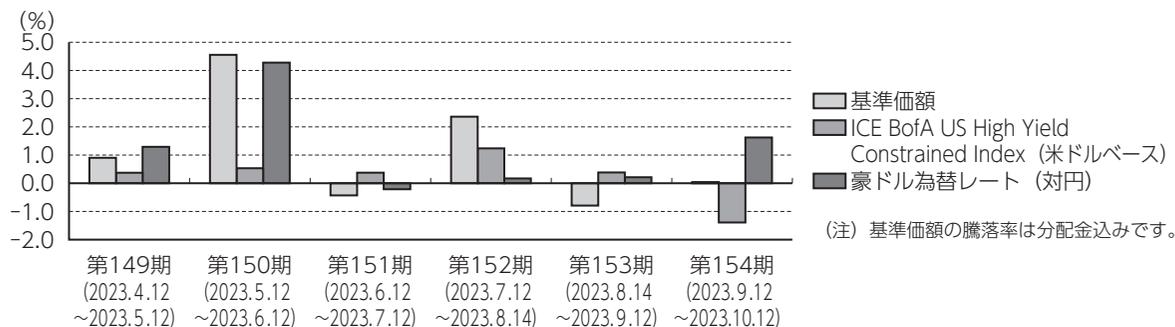
### ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第149期	第150期	第151期	第152期	第153期	第154期
	2023年4月13日 ～2023年5月12日	2023年5月13日 ～2023年6月12日	2023年6月13日 ～2023年7月12日	2023年7月13日 ～2023年8月14日	2023年8月15日 ～2023年9月12日	2023年9月13日 ～2023年10月12日
<b>当期分配金（税込み）（円）</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>
対基準価額比率（％）	0.43	0.41	0.41	0.40	0.41	0.41
当期の収益（円）	20	20	20	20	20	20
当期の収益以外（円）	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	762	771	777	786	791	798

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注4）投資信託の計上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第149期	第150期	第151期	第152期	第153期	第154期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 26.75円	✓ 28.59円	✓ 25.46円	✓ 29.62円	✓ 25.30円	✓ 26.02円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	690.38	690.47	690.55	690.64	690.73	690.83
(d) 分配準備積立金	65.83	72.51	81.02	86.40	95.93	101.13
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	782.98	791.57	797.04	806.66	811.97	818.00
(f) 分配金	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	762.98	771.57	777.04	786.66	791.97	798.00

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

主として、「GIM・USハイ・イールド（AUDクラス）」への投資割合を高位に保つことによつて、米ドル建てハイ・イールド債券からの収益のほか、豪ドルの為替値上がり益の獲得をめざします。

### ■GIM・USハイ・イールド（AUDクラス）

主として米ドル建てのハイ・イールド債券に投資し、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を行うことで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。ハイ・イールド債券の組み入れに際しては、ボトムアップ分析に基づく個別銘柄選択を重視した運用を継続する方針です。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。



## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2010年12月17日～2025年10月10日	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。	
主要投資対象	当ファンド	①ケイマン籍の外国投資信託「GIM トラストーUSハイ・イールド・ボンド・ファンド AUDクラス」(以下「GIM・USハイ・イールド (AUDクラス)」といいます。)の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネー・マザーファンド	本邦通貨表示の公社債
当ファンドの運用方法	①主として、GIM・USハイ・イールド (AUDクラス) の受益証券を通じて、米ドル建てのハイ・イールド債券に投資し、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を行ない、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。 ②当ファンドは、GIM・USハイ・イールド (AUDクラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態では、GIM・USハイ・イールド (AUDクラス) への投資割合を信託財産の純資産総額の90%程度以上とすることを基本とします。 ③GIM・USハイ・イールド (AUDクラス) では、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を行いません。	
マザーファンドの運用方法	①わが国の公社債を中心に安定運用を行いません。 ②邦貨建資産の組み入れにあたっては、取得時に第二位 (A-2格相当) 以上の短期格付であり、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないことがあります。また、第1および第2計算期末には、収益の分配は行ないません。	

Source ICE Data Indices, LLC is used with permission. ICE® is a registered trademark of ICE Data Indices, LLC or its affiliates and BofA® is a registered trademark of Bank of America Corporation licensed by Bank of America Corporation and its affiliates ("BofA"), and may not be used without BofA's prior written approval. The index data referenced herein is the property of ICE Data Indices, LLC, its affiliates ("ICE Data") and/or its third party suppliers and, along with the ICE BofA trademarks, has been licensed for use by Daiwa Asset Management Co. Ltd. ICE Data and its Third Party Suppliers accept no liability in connection with the use of such index data or marks. See [<https://www.daiwa-am.co.jp/funds/disclaimer/index.html>] for a full copy of the Disclaimer.

出所：ICE Data Indices, LLC (以下「ICEデータ」)

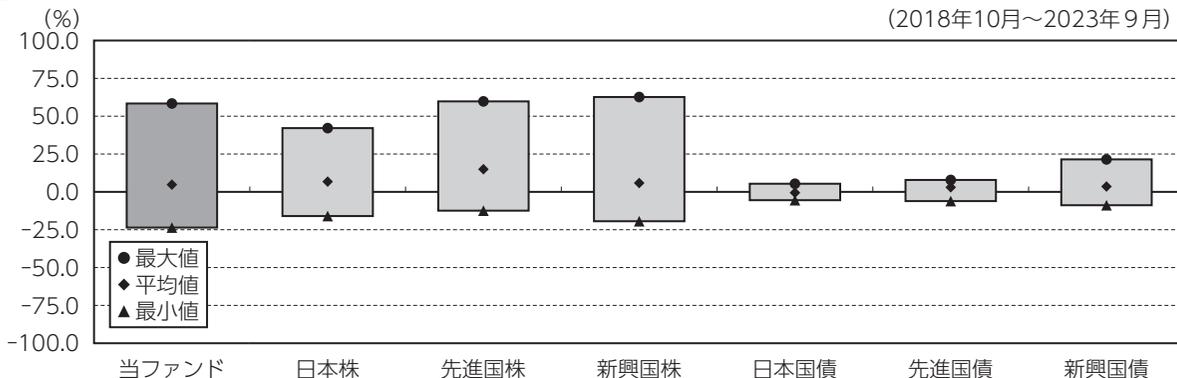
"ICE"はICEデータまたはその関連会社のサービス／トレードマークです。「BOFA®」は、Bank of America Corporationとその関連会社である「BOFA」の登録商標であり、BOFAの書面による事前承認なしに使用することはできません。本書で言及されているインデックスデータは、ICE BofAの登録商標と併せて、ICEデータ、その関連会社またはその第三者供給元の所有物であり、大和アセットマネジメント株式会社に対して使用許諾されています。ICEデータおよびその第三者供給元は、当該インデックスデータまたはマークの使用に関して、いかなる責任も負いません。免責事項の全文は [<https://www.daiwa-am.co.jp/funds/disclaimer/index.html>] をご覧ください。

In the event of any inconsistency between the English version and the Japanese version of this disclaimer, the English version shall prevail.



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2018年10月～2023年9月)



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	58.4	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
平均値	4.8	6.8	15.0	5.9	△0.6	3.0	3.5
最小値	△23.6	△16.0	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任を負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>）●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性、正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



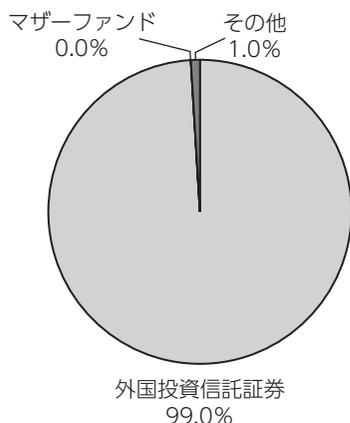
# ファンドデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

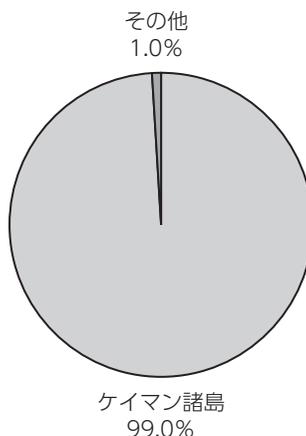
### 組入ファンド等

	比率
GIM・USハイ・イールド（AUDクラス）	99.0%
ダイワ・マネー・マザーファンド	0.0
その他	1.0

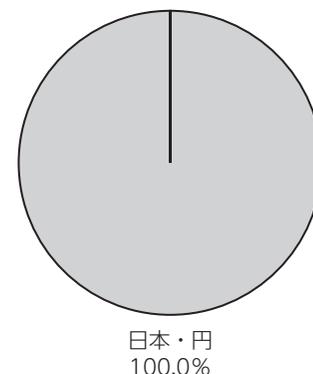
### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



(注1) 上記データは2023年10月12日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

## 純資産等

項 目	第149期末	第150期末	第151期末	第152期末	第153期末	第154期末
	2023年5月12日	2023年6月12日	2023年7月12日	2023年8月14日	2023年9月12日	2023年10月12日
純資産総額	555,523,018円	578,750,077円	567,271,025円	575,125,561円	566,686,497円	562,270,971円
受益権総口数	1,187,859,078口	1,188,370,102口	1,174,692,756口	1,168,342,532口	1,165,003,065口	1,160,237,129口
1万口当り基準価額	4,677円	4,870円	4,829円	4,923円	4,864円	4,846円

\* 当作成期間（第149期～第154期）中における追加設定元本額は7,748,987円、同解約元本額は43,745,917円です。

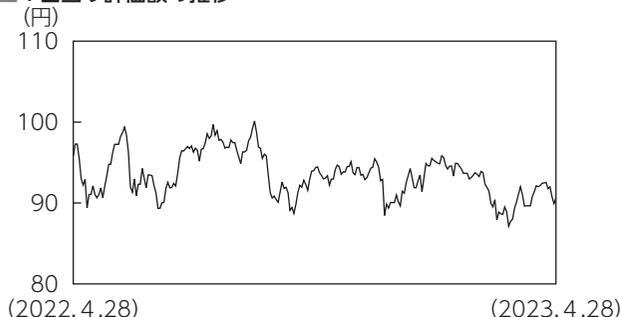
\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

## 組入上位ファンドの概要

### ◆GIM・USハイ・イールド（AUDクラス）（作成対象期間 2022年4月29日～2023年4月28日）

※直近で入手可能なFinancial Statements作成期間です。

#### ■1口当り評価額の推移



(注1) 1口当り評価額は、分配金を再投資したものとみなして計算しています。  
 (注2) 国内の営業日の評価額を記載しています。

#### ■組入上位銘柄

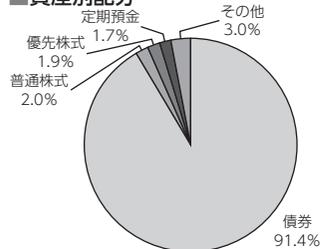
銘柄名	通貨	比率
Cooper-Standard Automotive, Inc. 13.50% due 03/31/27	米ドル	1.7%
Claire's Stores, Inc.	米ドル	1.6
Bausch Health Cos, Inc. 9.00% due 12/15/25	米ドル	1.3
CCO Holdings LLC / CCO Holdings Capital Corp. 5.13% due 05/01/27	米ドル	1.0
DISH DBS Corp. 5.88% due 11/15/24	米ドル	1.0
Tenet Healthcare Corp. 4.88% due 01/01/26	米ドル	0.9
Nexstar Media, Inc. 5.63% due 07/15/27	米ドル	0.9
CCO Holdings LLC / CCO Holdings Capital Corp. 4.25% due 02/01/31	米ドル	0.9
Albertsons Cos, Inc. / Safeway, Inc. / New Albertsons LP / Albertsons LLC 4.63% due 01/15/27	米ドル	0.8
Intelsat Jackson Holdings S.A. 6.50% due 03/15/30	米ドル	0.7
組入銘柄数		518銘柄

(注) 比率は純資産に対する比率です。

#### ■1口当りの費用の明細

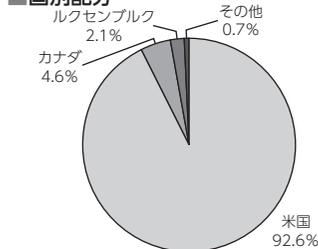
当ファンドの単位口数当りの費用のデータは取得できないため、記載しておりません。

#### ■資産別配分



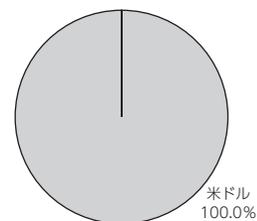
(注) 比率は純資産に対する比率です。

#### ■国別配分



(注) 比率は投資総額に対する比率です。

#### ■通貨別配分



(注1) 比率は投資総額に対する比率です。  
 (注2) ファンドの保有米ドル建資産に対して、米ドル売り/豪ドル買いの為替取引を行っています。

\*組入上位銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、作成対象期間末時点のデータです。

\*組入上位銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、「GIM・USハイ・イールド」の運用会社等からの情報提供をもとに作成したものであり、運用報告書（全体版）の情報とは異なる場合があります。

\*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

### ◆ダイワ・マネー・マザーファンド（作成対象期間 2021年12月10日～2022年12月9日）

13ページをご参照ください。

# ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型)～ハイイールドファンド～ ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

&lt;4766&gt;

追加型投信／海外／債券  
日経新聞掲載名：米高利債レア

第151期	2023年5月12日決算	第154期	2023年8月14日決算
第152期	2023年6月12日決算	第155期	2023年9月12日決算
第153期	2023年7月12日決算	第156期	2023年10月12日決算

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米ドル建ての高金利社債に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第156期末	基準価額	3,555円
	純資産総額	4,162百万円
第151期～第156期	騰落率	13.7%
	分配金合計	60円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先

 コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)  
**0120-106212**

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

**UD  
FONT**

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

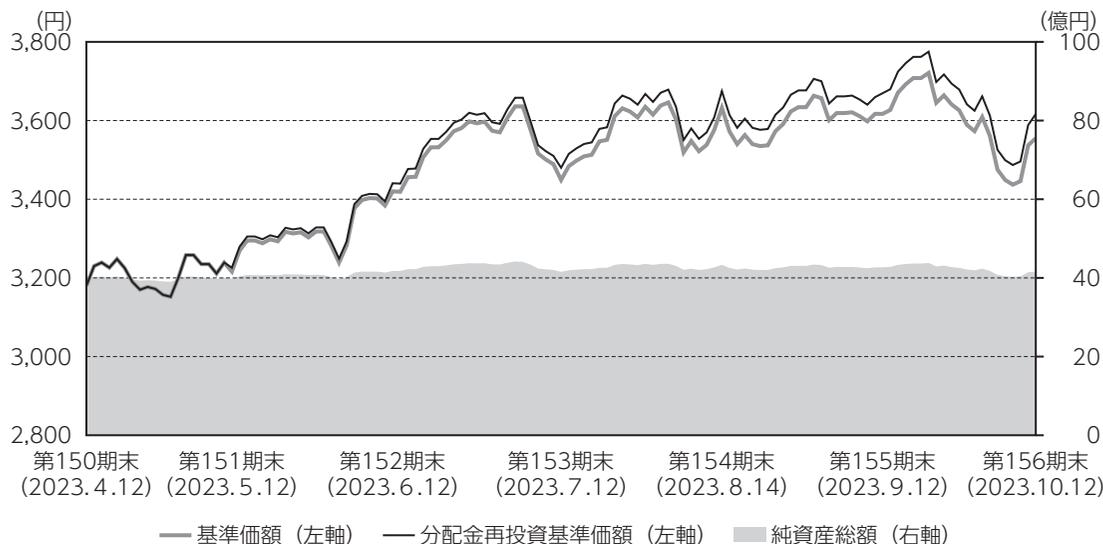
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- \* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- \* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

### 基準価額・騰落率

第151期首：3,180円  
 第156期末：3,555円（既払分配金60円）  
 騰落率：13.7%（分配金再投資ベース）

### 基準価額の主な変動要因

「GIM・USハイ・イールド（BRLクラス）」への投資を通じて、米ドル建てのハイ・イールド債券に投資し、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行いました。ブラジル・リアルが対円で上昇（円安）したことやハイ・イールド債券価格の上昇、債券からの利息収入、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※GIM・USハイ・イールド（BRLクラス）：GIM トラストーUSハイ・イールド・ボンド・ファンド BRLクラス

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第151期～第156期 (2023.4.13～2023.10.12)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	21円	0.591%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は3,475円です。
(投 信 会 社)	(8)	(0.219)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(12)	(0.357)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	－	－	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	21	0.595	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

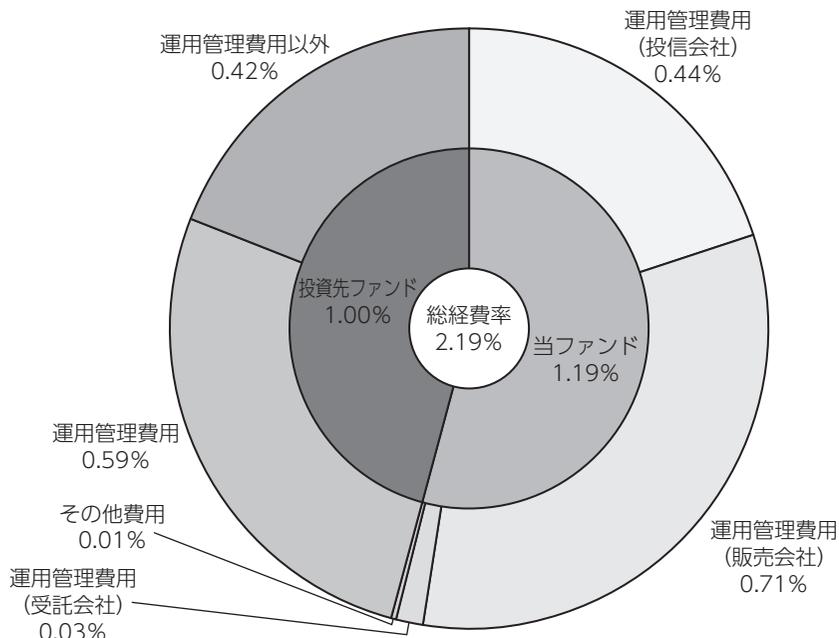
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.19%です。



総経費率 (①+②+③)	2.19%
①当ファンドの費用の比率	1.19%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.59%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.42%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

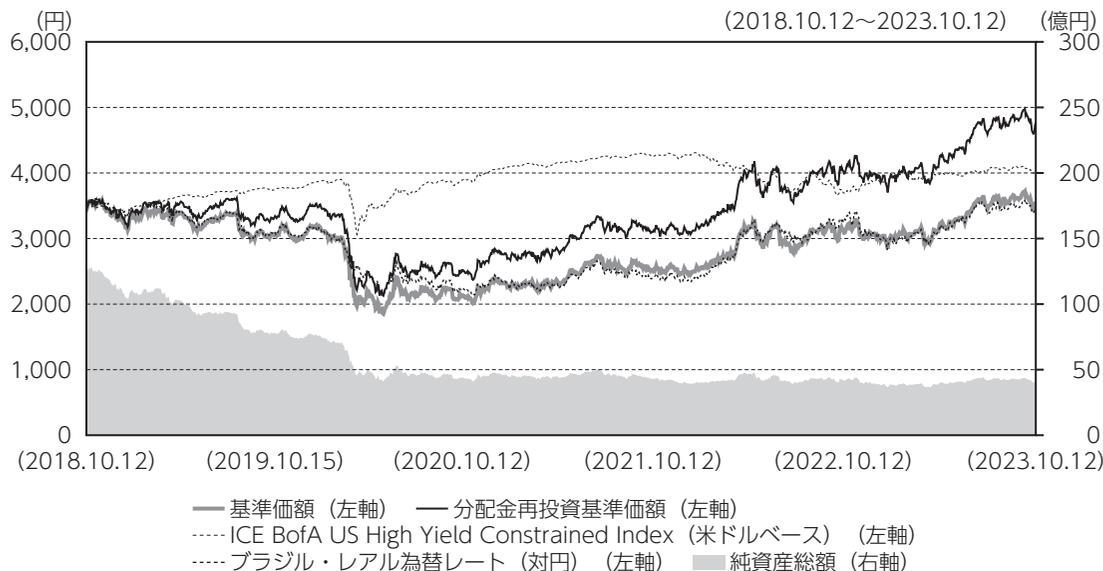
(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額および参考指数は、2018年10月12日の基準価額をもとに指数化したものです。

\*参考指数はICE BofA US High Yield Constrained Index（米ドルベース）およびブラジル・リアル為替レート（対円）です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

	2018年10月12日 期初	2019年10月15日 決算日	2020年10月12日 決算日	2021年10月12日 決算日	2022年10月12日 決算日	2023年10月12日 決算日
基準価額 (円)	3,496	3,071	2,135	2,502	3,114	3,555
期間分配金合計（税込み） (円)	—	280	200	120	120	120
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△4.4	△24.6	23.1	29.8	18.4
ICE BofA US High Yield Constrained Index (米ドルベース) 騰落率 (%)	—	7.3	3.7	9.7	△13.3	9.1
ブラジル・リアル為替レート (対円) 騰落率 (%)	—	△11.5	△27.3	7.3	34.5	7.2
純資産総額 (百万円)	12,571	7,800	4,404	4,279	4,200	4,162

（注1）比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

（注2）ICE BofA US High Yield Constrained Index（米ドルベース）騰落率は、ICE BofA US High Yield Constrained Index（米ドルベース）の原データをもとに、大和アセットマネジメントが計算したものです。

（注3）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

（注4）為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

（注5）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は最近で知り得るデータを使用しております。

## 投資環境について

(2023.4.13~2023.10.12)

### ■米国ハイ・イールド債券市況

米国ハイ・イールド債券市況は上昇しました。

米国ハイ・イールド債券市況は、当作成期首から2023年5月下旬にかけて、F R B（米国連邦準備制度理事会）による利上げの実施や早期の引き締め終了期待のはく落により下落しました。その後、7月中旬にかけては、米国の債務上限問題が解決したことや経済指標で米国経済の底堅さが確認されたことなどを背景にリスク選好姿勢が強まり上昇しました。しかし8月中旬にかけては、米国国債の増発や格下げが嫌気されたことから市況は下落しました。9月中旬にかけては、懸念されていたジャクソンホール会議でのF R B議長公演を無難に通過したことや軟調な経済指標を受けて利上げ期待が後退したことから上昇しました。当作成期末にかけては、F R Bによる金融引き締め環境の長期化などが嫌気され、市況は下落しました。

### ■為替相場

ブラジル・リアル為替相場は、対円で上昇しました。

ブラジル・リアルの対円為替相場は、当作成期首より、財政悪化懸念が後退したことや、高金利通貨への選好が強まったことなどから、上昇しました。2023年7月以降は、方向感なくレンジでの推移となりました。

### ■短期金利市況

ブラジル中央銀行は政策金利を1.00%ポイント引き下げ、12.75%としました。

F R B（米国連邦準備制度理事会）は政策金利の誘導目標レンジを0.50%ポイント引き上げ、5.25~5.50%としました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

主として、「G I M・U Sハイ・イールド（B R Lクラス）」への投資割合を高位に保つことによって、米ドル建てハイ・イールド債券からの収益のほか、ブラジル・リアルの為替値上がり益や為替取引によるプレミアムの獲得をめざします。

### ■G I M・U Sハイ・イールド（B R Lクラス）

主として米ドル建てのハイ・イールド債券に投資し、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行うことで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。ハイ・イールド債券の組み入れに際しては、ボトムアップ分析に基づく個別銘柄選択を重視した運用を継続する方針です。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2023.4.13~2023.10.12)

### ■当ファンド

当ファンドは、「GIM・USハイ・イールド (BRLクラス)」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じて「GIM・USハイ・イールド (BRLクラス)」への投資割合を高位に維持しました。

### ■GIM・USハイ・イールド (BRLクラス)

主として米ドル建てのハイ・イールド債券を中心に投資し、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行うことで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。ハイ・イールド債券の組み入れに際しては、引き続きボトムアップ分析に基づく個別銘柄選択を重視した運用を行いました。

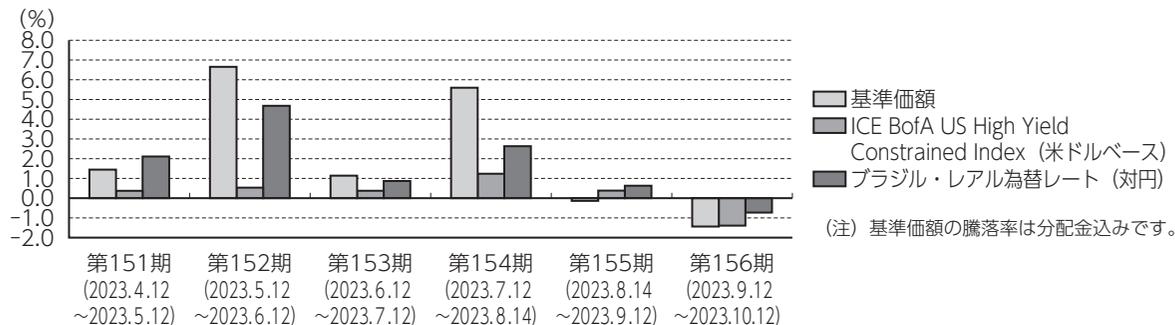
### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第151期	第152期	第153期	第154期	第155期	第156期
	2023年4月13日 ～2023年5月12日	2023年5月13日 ～2023年6月12日	2023年6月13日 ～2023年7月12日	2023年7月13日 ～2023年8月14日	2023年8月15日 ～2023年9月12日	2023年9月13日 ～2023年10月12日
<b>当期分配金（税込み）（円）</b>	<b>10</b>	<b>10</b>	<b>10</b>	<b>10</b>	<b>10</b>	<b>10</b>
対基準価額比率（%）	0.31	0.29	0.29	0.27	0.28	0.28
当期の収益（円）	10	10	10	10	10	10
当期の収益以外（円）	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	718	754	788	828	863	900

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注4）投資信託の計上で、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第151期	第152期	第153期	第154期	第155期	第156期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 45.47円	✓ 46.45円	✓ 43.87円	✓ 49.82円	✓ 45.35円	✓ 46.92円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	85.76	85.97	86.28	86.50	86.72	86.97
(d) 分配準備積立金	596.93	632.20	668.35	702.00	741.60	776.71
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	728.17	764.63	798.50	838.32	873.68	910.61
(f) 分配金	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	718.17	754.63	788.50	828.32	863.68	900.61

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

主として、「GIM・USハイ・イールド（BR Lクラス）」への投資割合を高位に保つことによって、米ドル建てハイ・イールド債券からの収益のほか、ブラジル・リアルの為替値上がり益や為替取引によるプレミアムの獲得をめざします。

### ■GIM・USハイ・イールド（BR Lクラス）

主として米ドル建てのハイ・イールド債券に投資し、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行うことで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。ハイ・イールド債券の組み入れに際しては、ボトムアップ分析に基づく個別銘柄選択を重視した運用を継続する方針です。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。



## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2010年10月13日～2025年10月10日	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	①ケイマン籍の外国投資信託「GIM トラストーUSハイ・イールド・ボンド・ファンド BRLクラス」(以下「GIM・USハイ・イールド (BRLクラス)」といいます。)の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネー・マザーファンド	本邦通貨表示の公社債
当ファンドの運用方法	①主として、GIM・USハイ・イールド (BRLクラス) の受益証券を通じて、米ドル建てのハイ・イールド債券に投資し、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行ない、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②当ファンドは、GIM・USハイ・イールド (BRLクラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、GIM・USハイ・イールド (BRLクラス) への投資割合を信託財産の純資産総額の90%程度以上とすることを基本とします。 ③GIM・USハイ・イールド (BRLクラス) では、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行ないます。	
マザーファンドの運用方法	①わが国の公社債を中心に安定運用を行ないます。 ②邦貨建資産の組み入れにあたっては、取得時に第二位 (A-2格相当) 以上の短期格付であり、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないことがあります。また、第1および第2計算期末には、収益の分配は行ないません。	

Source ICE Data Indices, LLC is used with permission. ICE® is a registered trademark of ICE Data Indices, LLC or its affiliates and BofA® is a registered trademark of Bank of America Corporation licensed by Bank of America Corporation and its affiliates ("BofA"), and may not be used without BofA's prior written approval. The index data referenced herein is the property of ICE Data Indices, LLC, its affiliates ("ICE Data") and/or its third party suppliers and, along with the ICE BofA trademarks, has been licensed for use by Daiwa Asset Management Co. Ltd. ICE Data and its Third Party Suppliers accept no liability in connection with the use of such index data or marks. See [<https://www.daiwa-am.co.jp/funds/disclaimer/index.html>] for a full copy of the Disclaimer.

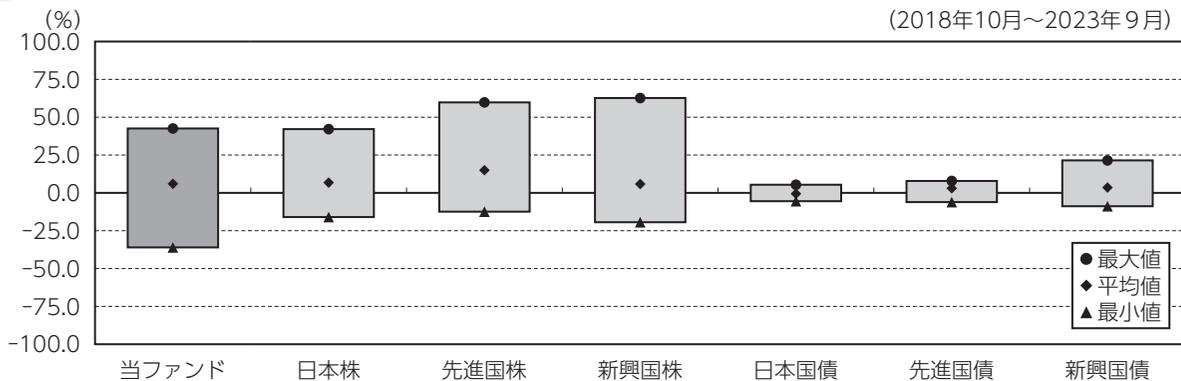
出所：ICE Data Indices, LLC (以下「ICEデータ」)

"ICE"はICEデータまたはその関連会社のサービス／トレードマークです。「BOFA®」は、Bank of America Corporationとその関連会社である「BOFA」の登録商標であり、BOFAの書面による事前承認なしに使用することはできません。本書で言及されているインデックスデータは、ICE BofAの登録商標と併せて、ICEデータ、その関連会社またはその第三者供給元の所有物であり、大和アセットマネジメント株式会社に対して使用許諾されています。ICEデータおよびその第三者供給元は、当該インデックスデータまたはマークの使用に関して、いかなる責任も負いません。免責事項の全文は [<https://www.daiwa-am.co.jp/funds/disclaimer/index.html>] をご覧ください。

In the event of any inconsistency between the English version and the Japanese version of this disclaimer, the English version shall prevail.



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	42.6	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
平均値	6.0	6.8	15.0	5.9	-0.6	3.0	3.5
最小値	-36.0	-16.0	-12.4	-19.4	-5.5	-6.1	-8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任を負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>）●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性、正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



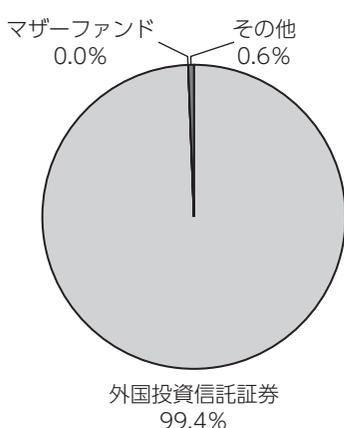
# ファンドデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

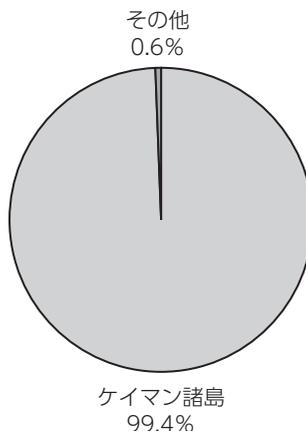
### 組入ファンド等

	比率
GIM・USハイ・イールド（BRLクラス）	99.4%
ダイワ・マネー・マザーファンド	0.0
その他	0.6

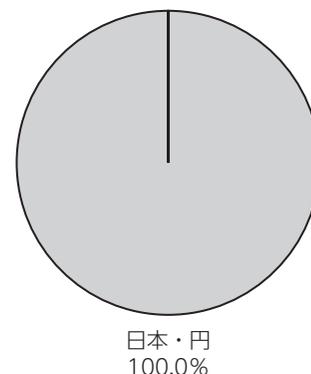
### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



(注1) 上記データは2023年10月12日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

## 純資産等

項 目	第151期末	第152期末	第153期末	第154期末	第155期末	第156期末
	2023年5月12日	2023年6月12日	2023年7月12日	2023年8月14日	2023年9月12日	2023年10月12日
純資産総額	3,976,545,058円	4,176,537,438円	4,154,775,677円	4,331,821,373円	4,269,142,393円	4,162,078,006円
受益権総口数	12,363,274,395口	12,213,405,383口	12,047,759,163口	11,925,561,601口	11,801,843,390口	11,709,242,466口
1万口当り基準価額	3,216円	3,420円	3,449円	3,632円	3,617円	3,555円

\* 当作成期間（第151期～第156期）中における追加設定元本額は25,075,063円、同解約元本額は765,691,678円です。

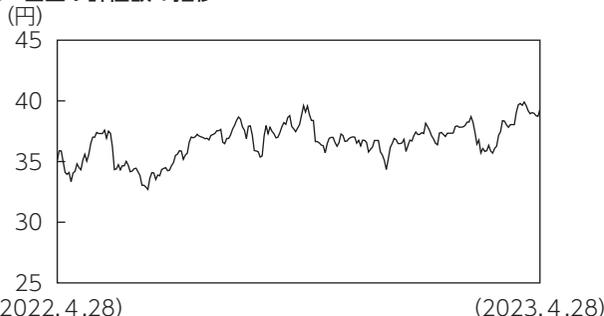
\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

## 組入上位ファンドの概要

### ◆GIM・USハイ・イールド（BRLクラス）（作成対象期間 2022年4月29日～2023年4月28日）

※直近で入手可能なFinancial Statements作成期間です。

#### ■1口当り評価額の推移



(注1) 1口当り評価額は、分配金を再投資したものとみなして計算しています。  
 (注2) 国内の営業日の評価額を記載しています。

#### ■組入上位銘柄

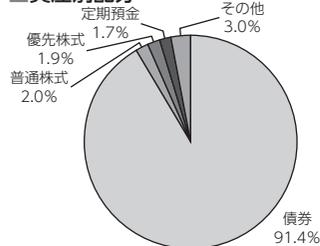
銘柄名	通貨	比率
Cooper-Standard Automotive, Inc. 13.50% due 03/31/27	米ドル	1.7%
Claire's Stores, Inc.	米ドル	1.6
Bausch Health Cos, Inc. 9.00% due 12/15/25	米ドル	1.3
CCO Holdings LLC / CCO Holdings Capital Corp. 5.13% due 05/01/27	米ドル	1.0
DISH DBS Corp. 5.88% due 11/15/24	米ドル	1.0
Tenet Healthcare Corp. 4.88% due 01/01/26	米ドル	0.9
Nexstar Media, Inc. 5.63% due 07/15/27	米ドル	0.9
CCO Holdings LLC / CCO Holdings Capital Corp. 4.25% due 02/01/31	米ドル	0.9
Albertsons Cos, Inc. / Safeway, Inc. / New Albertsons LP / Albertsons LLC 4.63% due 01/15/27	米ドル	0.8
Intelsat Jackson Holdings S.A. 6.50% due 03/15/30	米ドル	0.7
組入銘柄数		518銘柄

(注) 比率は純資産に対する比率です。

#### ■1口当りの費用の明細

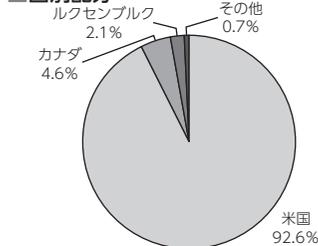
当ファンドの単位口数当りの費用のデータは取得できないため、記載しておりません。

#### ■資産別配分



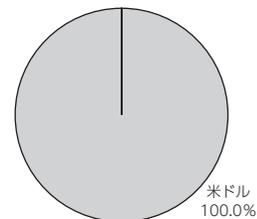
(注) 比率は純資産に対する比率です。

#### ■国別配分



(注) 比率は投資総額に対する比率です。

#### ■通貨別配分



(注1) 比率は投資総額に対する比率です。  
 (注2) ファンドの保有米ドル建資産に対して、米ドル売り/ブラジル・リアル買いの為替取引を行っています。

\*組入上位銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、作成対象期間末時点のデータです。

\*組入上位銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、「GIM・USハイ・イールド」の運用会社等からの情報提供をもとに作成したものであり、運用報告書（全体版）の情報とは異なる場合があります。

\*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

### ◆ダイワ・マネー・マザーファンド（作成対象期間 2021年12月10日～2022年12月9日）

13ページをご参照ください。

# ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型)～ハイイールドファンド～ 日本円・コース (毎月分配型)

&lt;4767&gt;

追加型投信／海外／債券  
日経新聞掲載名：米高利債円

第151期	2023年5月12日決算	第154期	2023年8月14日決算
第152期	2023年6月12日決算	第155期	2023年9月12日決算
第153期	2023年7月12日決算	第156期	2023年10月12日決算

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米ドル建ての高金利社債に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第156期末	基準価額	6,909円
	純資産総額	942百万円
第151期～第156期	騰落率	△2.9%
	分配金合計	120円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先

 コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)  
**0120-106212**

お客様の口座内容に関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

**UD  
FONT**

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

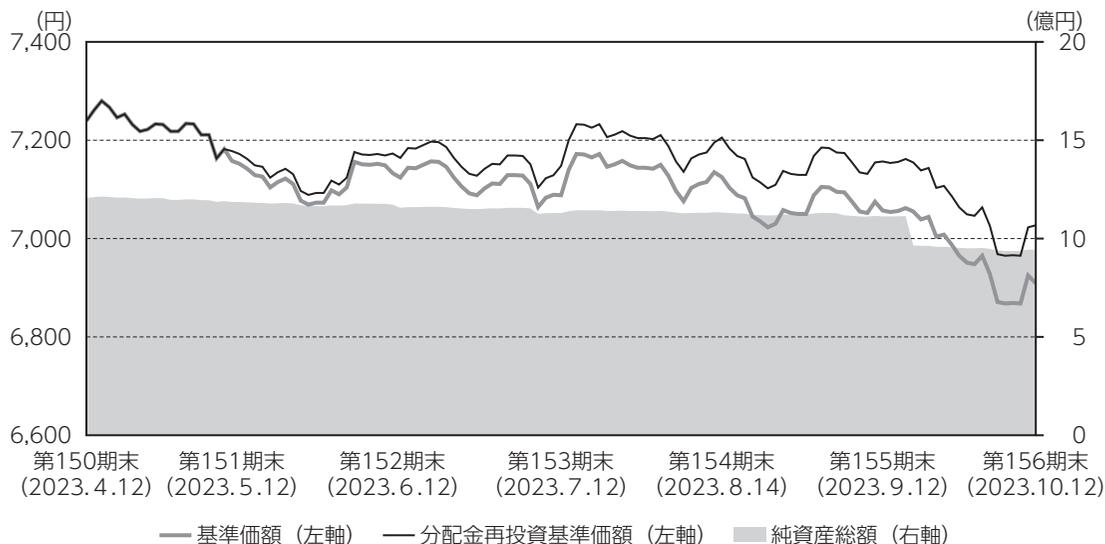
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- \* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- \* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

### 基準価額・騰落率

第151期首：7,239円

第156期末：6,909円（既払分配金120円）

騰落率：△2.9%（分配金再投資ベース）

### 基準価額の主な変動要因

「GIM・USハイ・イールド（JPYクラス）」への投資を通じて、米ドル建てのハイ・イールド債券に投資し、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／日本円買いの為替ヘッジを行いました。ハイ・イールド債券価格の上昇や債券からの利息収入がプラス要因となった一方、為替ヘッジコストがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※GIM・USハイ・イールド（JPYクラス）：GIM トラストーUSハイ・イールド・ボンド・ファンド JPYクラス

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第151期～第156期 (2023.4.13～2023.10.12)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	42円	0.596%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は7,106円です。
(投 信 会 社)	(16)	(0.221)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(26)	(0.359)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	－	－	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	43	0.600	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

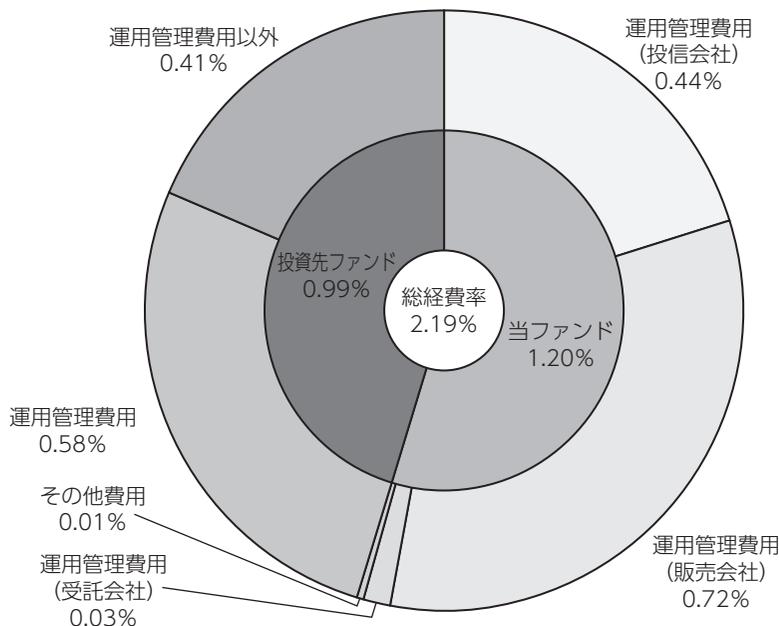
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.19%です。



総経費率 (①+②+③)	2.19%
①当ファンドの費用の比率	1.20%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.58%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.41%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

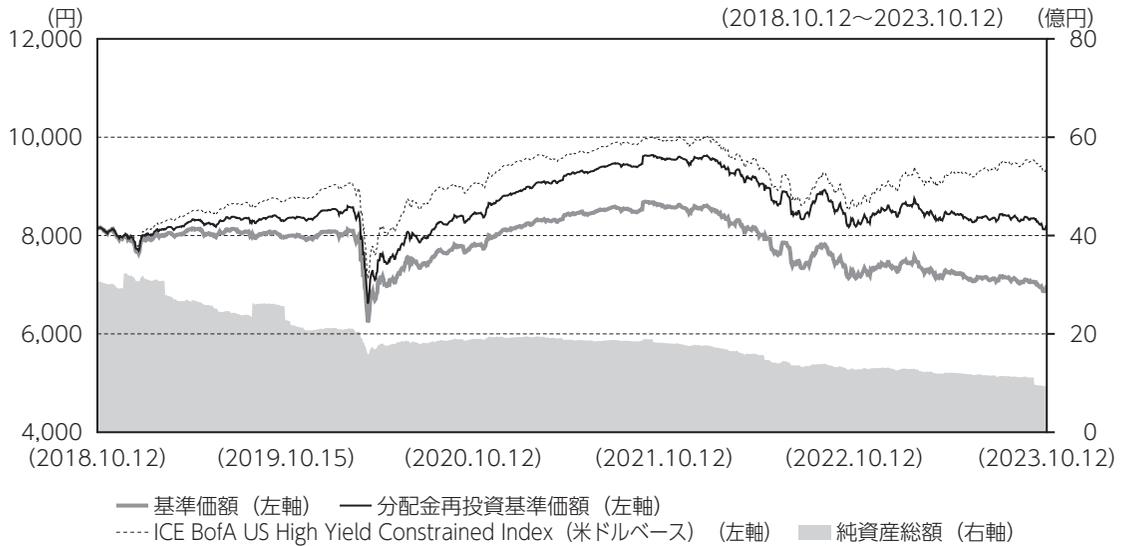
(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2018年10月12日の基準価額をもとに指数化したものです。

\*参考指数はICE BofA US High Yield Constrained Index（米ドルベース）です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

	2018年10月12日 期初	2019年10月15日 決算日	2020年10月12日 決算日	2021年10月12日 決算日	2022年10月12日 決算日	2023年10月12日 決算日
基準価額 (円)	8,130	7,966	7,799	8,586	7,166	6,909
期間分配金合計（税込み） (円)	—	360	260	240	240	240
分配金再投資基準価額の騰落率（%）	—	2.5	1.3	13.3	△14.0	△0.3
ICE BofA US High Yield Constrained Index（米ドルベース）騰落率（%）	—	7.3	3.7	9.7	△13.3	9.1
純資産総額 (百万円)	3,052	2,276	1,894	1,812	1,274	942

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) ICE BofA US High Yield Constrained Index（米ドルベース）騰落率は、ICE BofA US High Yield Constrained Index（米ドルベース）の原データをもとに、大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

## 投資環境について

(2023.4.13~2023.10.12)

### ■米国ハイ・イールド債券市況

米国ハイ・イールド債券市況は上昇しました。

米国ハイ・イールド債券市況は、当作成期首から2023年5月下旬にかけて、F R B（米国連邦準備制度理事会）による利上げの実施や早期の引き締め終了期待のはく落により下落しました。その後、7月中旬にかけては、米国の債務上限問題が解決したことや経済指標で米国経済の底堅さが確認されたことなどを背景にリスク選好姿勢が強まり上昇しました。しかし8月中旬にかけては、米国国債の増発や格下げが嫌気されたことから市況は下落しました。9月中旬にかけては、懸念されていたジャクソンホール会議でのF R B議長公演を無難に通過したことや軟調な経済指標を受けて利上げ期待が後退したことから上昇しました。当作成期末にかけては、F R Bによる金融引き締め環境の長期化などが嫌気され、市況は下落しました。

### ■短期金利市況

日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」の枠組みを継続し、短期金利は低位で推移しました。

F R B（米国連邦準備制度理事会）は政策金利の誘導目標レンジを0.50%ポイント引き上げ、5.25~5.50%としました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

主として、「G I M・U Sハイ・イールド（J P Yクラス）」への投資割合を高位に保つことによって、米ドル建てハイ・イールド債券からの収益の獲得をめざします。

### ■G I M・U Sハイ・イールド（J P Yクラス）

主として米ドル建てのハイ・イールド債券に投資し、米ドル建ての資産に対して米ドル売り/日本円買いの為替ヘッジを行うことで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。ハイ・イールド債券の組み入れに際しては、ボトムアップ分析に基づく個別銘柄選択を重視した運用を継続する方針です。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2023.4.13~2023.10.12)

### ■当ファンド

当ファンドは、「GIM・USハイ・イールド（JPYクラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じて「GIM・USハイ・イールド（JPYクラス）」への投資割合を高位に維持しました。

### ■GIM・USハイ・イールド（JPYクラス）

主として米ドル建てのハイ・イールド債券を中心に投資し、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／日本円買いの為替ヘッジを行うことで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。ハイ・イールド債券の組み入れに際しては、引き続きボトムアップ分析に基づく個別銘柄選択を重視した運用を行いました。

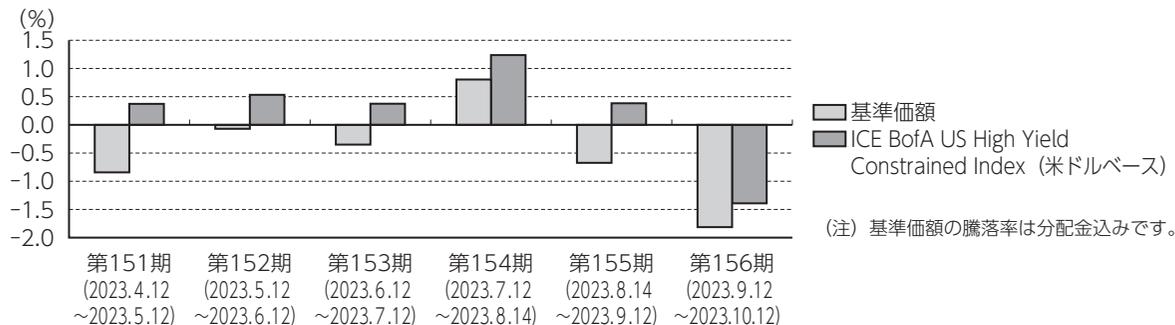
### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第151期	第152期	第153期	第154期	第155期	第156期
	2023年4月13日 ～2023年5月12日	2023年5月13日 ～2023年6月12日	2023年6月13日 ～2023年7月12日	2023年7月13日 ～2023年8月14日	2023年8月15日 ～2023年9月12日	2023年9月13日 ～2023年10月12日
<b>当期分配金（税込み）（円）</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>
対基準価額比率（%）	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.29
当期の収益（円）	15	14	12	16	12	12
当期の収益以外（円）	4	5	7	3	7	7
翌期繰越分配対象額（円）	586	580	572	569	562	554

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第151期	第152期	第153期	第154期	第155期	第156期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 15.46円	✓ 14.59円	✓ 12.21円	✓ 16.72円	✓ 12.56円	✓ 12.48円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	335.70	335.97	336.20	336.41	336.62	337.07
(d) 分配準備積立金	✓ 254.89	✓ 250.08	✓ 244.45	✓ 236.45	✓ 232.97	✓ 225.10
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	606.05	600.65	592.87	589.59	582.16	574.66
(f) 分配金	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	586.05	580.65	572.87	569.59	562.16	554.66

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

主として、「GIM・USハイ・イールド（JPYクラス）」への投資割合を高位に保つことによって、米ドル建てハイ・イールド債券からの収益の獲得をめざします。

### ■GIM・USハイ・イールド（JPYクラス）

主として米ドル建てのハイ・イールド債券に投資し、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／日本円買いの為替ヘッジを行うことで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。ハイ・イールド債券の組み入れに際しては、ボトムアップ分析に基づく個別銘柄選択を重視した運用を継続する方針です。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。



## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2010年10月13日～2025年10月10日	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。	
主要投資対象	当ファンド	①ケイマン籍の外国投資信託「GIM トラストーUSハイ・イールド・ボンド・ファンド JPYクラス」(以下「GIM・USハイ・イールド(JPYクラス)」といいます。)の受益証券(円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネー・マザーファンド	本邦通貨表示の公社債
当ファンドの運用方法	①主として、GIM・USハイ・イールド(JPYクラス)の受益証券を通じて、米ドル建てのハイ・イールド債券に投資し、米ドル建ての資産に対して米ドル売り/日本円買いの為替ヘッジを行ない、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。 ②当ファンドは、GIM・USハイ・イールド(JPYクラス)とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態では、GIM・USハイ・イールド(JPYクラス)への投資割合を信託財産の純資産総額の90%程度以上とすることを基本とします。 ③GIM・USハイ・イールド(JPYクラス)では、米ドル建ての資産に対して米ドル売り/日本円買いの為替ヘッジを行いません。	
マザーファンドの運用方法	①わが国の公社債を中心に安定運用を行いません。 ②邦貨建資産の組み入れにあたっては、取得時に第二位(A-2格相当)以上の短期格付であり、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないことがあります。また、第1および第2計算期末には、収益の分配は行ないません。	

Source ICE Data Indices, LLC is used with permission. ICE® is a registered trademark of ICE Data Indices, LLC or its affiliates and BofA® is a registered trademark of Bank of America Corporation licensed by Bank of America Corporation and its affiliates ("BofA"), and may not be used without BofA's prior written approval. The index data referenced herein is the property of ICE Data Indices, LLC, its affiliates ("ICE Data") and/or its third party suppliers and, along with the ICE BofA trademarks, has been licensed for use by Daiwa Asset Management Co. Ltd. ICE Data and its Third Party Suppliers accept no liability in connection with the use of such index data or marks. See [<https://www.daiwa-am.co.jp/funds/disclaimer/index.html>] for a full copy of the Disclaimer.

出所：ICE Data Indices, LLC（以下「ICEデータ」）

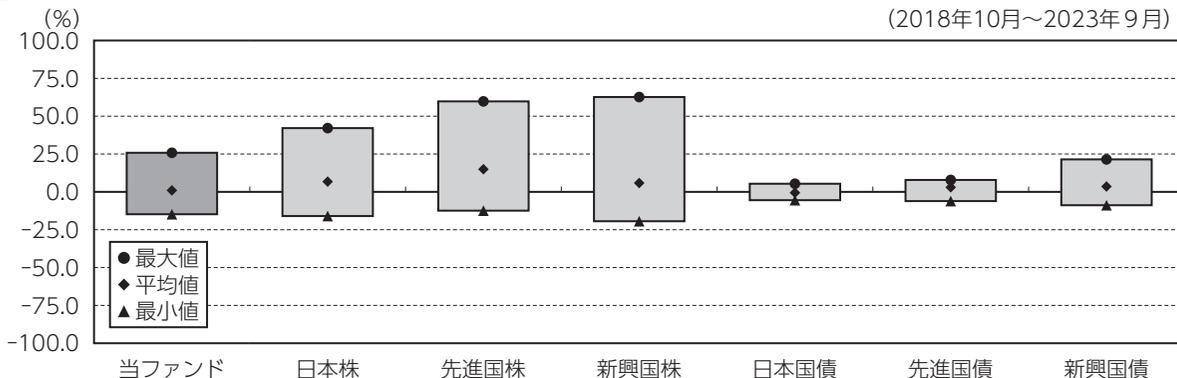
"ICE"はICEデータまたはその関連会社のサービス/トレードマークです。「BOFA®」は、Bank of America Corporationとその関連会社である「BOFA」の登録商標であり、BOFAの書面による事前承認なしに使用することはできません。本書で言及されているインデックスデータは、ICE BofAの登録商標と併せて、ICEデータ、その関連会社またはその第三者供給元の所有物であり、大和アセットマネジメント株式会社に対して使用許諾されています。ICEデータおよびその第三者供給元は、当該インデックスデータまたはマークの使用に関して、いかなる責任も負いません。免責事項の全文は [<https://www.daiwa-am.co.jp/funds/disclaimer/index.html>] をご覧ください。

In the event of any inconsistency between the English version and the Japanese version of this disclaimer, the English version shall prevail.



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2018年10月～2023年9月)



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	25.8	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
平均値	1.0	6.8	15.0	5.9	△0.6	3.0	3.5
最小値	△14.8	△16.0	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………J.P.モルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社J.P.X総研または株式会社J.P.X総研の関連会社（以下「J.P.X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJ.P.Xが有します。J.P.Xは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任を負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>）●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●J.P.モルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性、正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



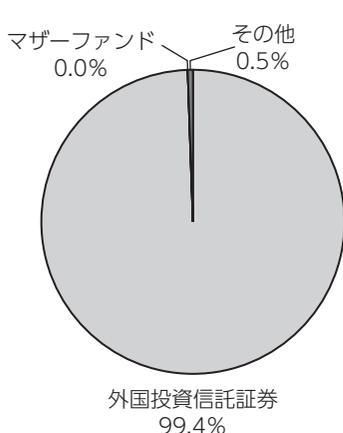
# ファンドデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

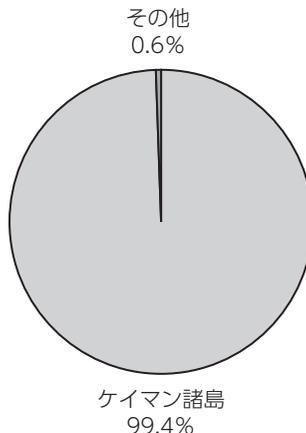
### 組入ファンド等

	比率
GIM・USハイ・イールド（JPYクラス）	99.4%
ダイワ・マネー・マザーファンド	0.0%
その他	0.5%

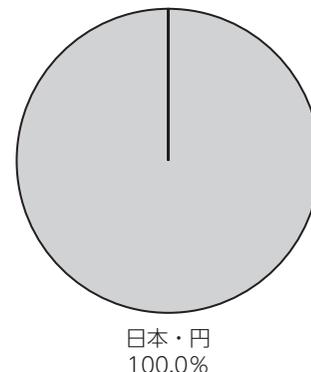
### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



(注1) 上記データは2023年10月12日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

## 純資産等

項 目	第151期末	第152期末	第153期末	第154期末	第155期末	第156期末
	2023年5月12日	2023年6月12日	2023年7月12日	2023年8月14日	2023年9月12日	2023年10月12日
純資産総額	1,185,952,012円	1,172,465,699円	1,129,749,453円	1,132,536,530円	1,112,448,508円	942,964,242円
受益権総口数	1,656,743,788口	1,643,676,645口	1,593,836,606口	1,589,534,196口	1,576,341,163口	1,364,912,991口
1万口当り基準価額	7,158円	7,133円	7,088円	7,125円	7,057円	6,909円

\* 当作成期間（第151期～第156期）中における追加設定元本額は10,431,619円、同解約元本額は311,264,082円です。

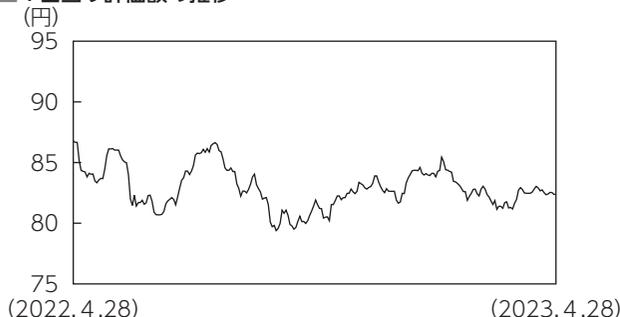
\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

## 組入上位ファンドの概要

### ◆GIM・USハイ・イールド（JPYクラス）（作成対象期間 2022年4月29日～2023年4月28日）

※直近で入手可能なFinancial Statements作成期間です。

#### ■1口当り評価額の推移



(注1) 1口当り評価額は、分配金を再投資したものとみなして計算しています。  
 (注2) 国内の営業日の評価額を記載しています。

#### ■組入上位銘柄

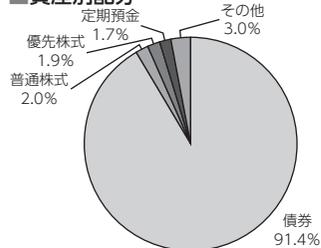
銘柄名	通貨	比率
Cooper-Standard Automotive, Inc. 13.50% due 03/31/27	米ドル	1.7%
Claire's Stores, Inc.	米ドル	1.6
Bausch Health Cos, Inc. 9.00% due 12/15/25	米ドル	1.3
CCO Holdings LLC / CCO Holdings Capital Corp. 5.13% due 05/01/27	米ドル	1.0
DISH DBS Corp. 5.88% due 11/15/24	米ドル	1.0
Tenet Healthcare Corp. 4.88% due 01/01/26	米ドル	0.9
Nexstar Media, Inc. 5.63% due 07/15/27	米ドル	0.9
CCO Holdings LLC / CCO Holdings Capital Corp. 4.25% due 02/01/31	米ドル	0.9
Albertsons Cos, Inc. / Safeway, Inc. / New Albertsons LP / Albertsons LLC 4.63% due 01/15/27	米ドル	0.8
Intelsat Jackson Holdings S.A. 6.50% due 03/15/30	米ドル	0.7
組入銘柄数		518銘柄

(注) 比率は純資産に対する比率です。

#### ■1口当りの費用の明細

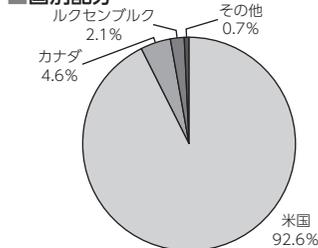
当ファンドの単位口数当りの費用のデータは取得できないため、記載しておりません。

#### ■資産別配分



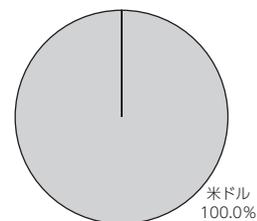
(注) 比率は純資産に対する比率です。

#### ■国別配分



(注) 比率は投資総額に対する比率です。

#### ■通貨別配分



(注1) 比率は投資総額に対する比率です。  
 (注2) ファンドの保有米ドル建資産に対して、米ドル売り/日本円買いの為替ヘッジを行っています。

\*組入上位銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、作成対象期間末時点のデータです。

\*組入上位銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、「GIM・USハイ・イールド」の運用会社等からの情報提供をもとに作成したものであり、運用報告書（全体版）の情報とは異なる場合があります。

\*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

### ◆ダイワ・マネー・マザーファンド（作成対象期間 2021年12月10日～2022年12月9日）

13ページをご参照ください。

# ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ～ハイイールドファンド～ 南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型)

&lt;5730&gt;

追加型投信／海外／債券  
日経新聞掲載名：米高利債南ア

第130期	2023年5月12日決算	第133期	2023年8月14日決算
第131期	2023年6月12日決算	第134期	2023年9月12日決算
第132期	2023年7月12日決算	第135期	2023年10月12日決算

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米ドル建ての高金利社債に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第135期末	基準価額	5,261円
	純資産総額	31百万円
第130期～第135期	騰落率	10.4%
	分配金合計	240円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先

 コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)  
**0120-106212**

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

**UD  
FONT**

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

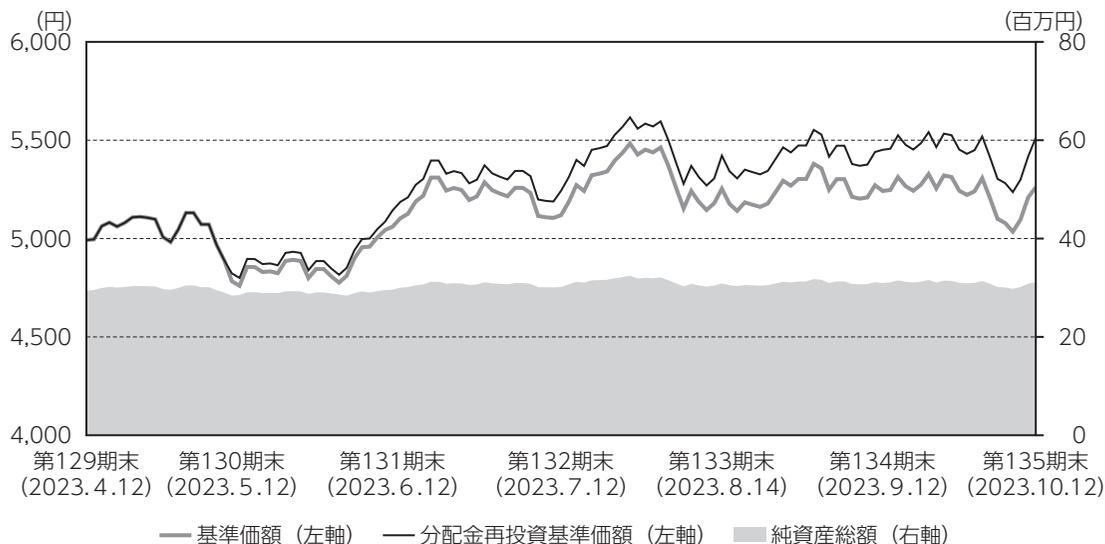
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- \* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- \* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

第130期首：4,992円  
 第135期末：5,261円（既払分配金240円）  
 騰落率：10.4%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の主な変動要因

「GIM・USハイ・イールド（ZARクラス）」への投資を通じて、米ドル建てのハイ・イールド債券に投資し、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／南アフリカ・ランド買いの為替取引を行いました。南アフリカ・ランドが対円で上昇（円安）したことやハイ・イールド債券価格の上昇、債券からの利息収入、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※GIM・USハイ・イールド（ZARクラス）：GIM トラストーUSハイ・イールド・ボンド・ファンド ZARクラス

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第130期～第135期 (2023.4.13～2023.10.12)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	30円	0.591%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は5,152円です。
(投 信 会 社)	(11)	(0.219)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(18)	(0.356)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	－	－	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	31	0.594	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

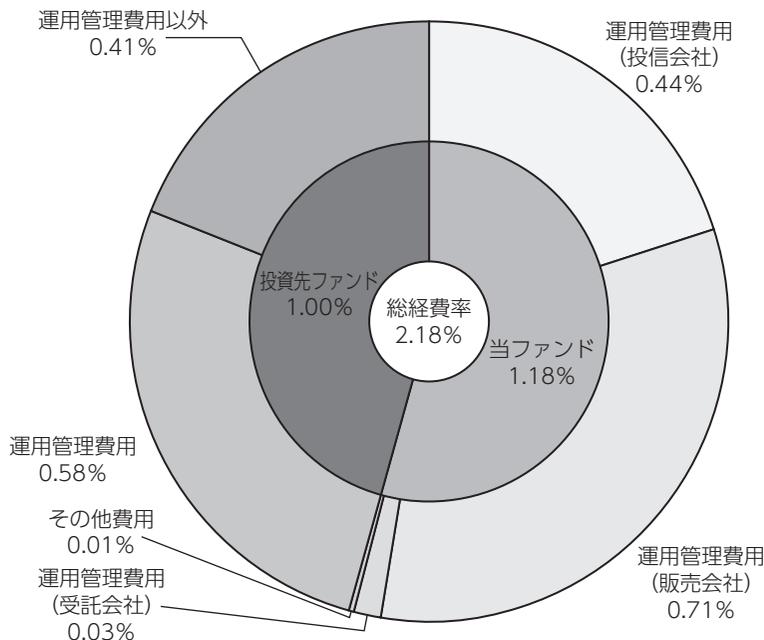
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.18%です。



総経費率 (①+②+③)	2.18%
①当ファンドの費用の比率	1.18%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.58%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.41%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

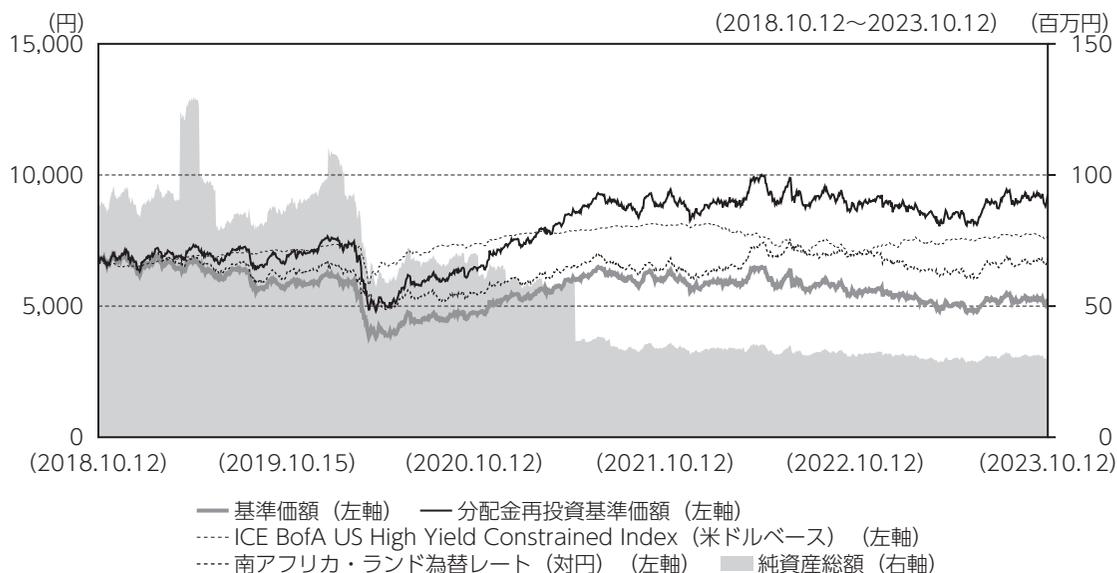
(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2018年10月12日の基準価額をもとに指数化したものです。

\*参考指数はICE BofA US High Yield Constrained Index (米ドルベース) および南アフリカ・ランド為替レート (対円) です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

	2018年10月12日 期初	2019年10月15日 決算日	2020年10月12日 決算日	2021年10月12日 決算日	2022年10月12日 決算日	2023年10月12日 決算日
基準価額 (円)	6,621	5,855	4,759	6,045	5,412	5,261
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	1,080	700	480	480	480
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	4.8	△6.5	38.0	△2.9	6.6
ICE BofA US High Yield Constrained Index (米ドルベース) 騰落率 (%)	—	7.3	3.7	9.7	△13.3	9.1
南アフリカ・ランド為替レート (対円) 騰落率 (%)	—	△4.9	△12.4	17.3	7.0	△1.4
純資産総額 (百万円)	87	88	70	34	30	31

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) ICE BofA US High Yield Constrained Index (米ドルベース) 騰落率は、ICE BofA US High Yield Constrained Index (米ドルベース) の原データをもとに、大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は最近で知り得るデータを使用しております。

## 投資環境について

(2023.4.13~2023.10.12)

### ■米国ハイ・イールド債券市況

米国ハイ・イールド債券市況は上昇しました。

米国ハイ・イールド債券市況は、当作成期首から2023年5月下旬にかけて、F R B（米国連邦準備制度理事会）による利上げの実施や早期の引き締め終了期待のはく落により下落しました。その後、7月中旬にかけては、米国の債務上限問題が解決したことや経済指標で米国経済の底堅さが確認されたことなどを背景にリスク選好姿勢が強まり上昇しました。しかし8月中旬にかけては、米国国債の増発や格下げが嫌気されたことから市況は下落しました。9月中旬にかけては、懸念されていたジャクソンホール会議でのF R B議長公演を無難に通過したことや軟調な経済指標を受けて利上げ期待が後退したことから上昇しました。当作成期末にかけては、F R Bによる金融引き締め環境の長期化などが嫌気され、市況は下落しました。

### ■為替相場

南アフリカ・ランド為替相場は、対円で上昇しました。

南アフリカ・ランドの対円為替相場は、当作成期首より、弱含んで推移しましたが、南アフリカ準備銀行が利上げを継続したことや格付会社のフィッチ・レーティングスが南アフリカのソブリン債格付けを「BB-」「安定的」と判断したことから、上昇しました。その後、当作成期末にかけては、レンジでの推移となりました。

### ■短期金利市況

南アフリカ準備銀行は政策金利を0.50%ポイント引き上げ、8.25%としました。

F R B（米国連邦準備制度理事会）は政策金利の誘導目標レンジを0.50%ポイント引き上げ、5.25~5.50%としました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

主として、「G I M・USハイ・イールド（ZARクラス）」への投資割合を高位に保つことによつて、米ドル建てハイ・イールド債券からの収益のほか、南アフリカ・ランドの為替値上がり益や為替取引によるプレミアムの獲得をめざします。

### ■G I M・USハイ・イールド（ZARクラス）

主として米ドル建てのハイ・イールド債券に投資し、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／南アフリカ・ランド買いの為替取引を行うことで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。ハイ・イールド債券の組み入れに際しては、ボトムアップ分析に基づく個別銘柄選択を重視した運用を継続する方針です。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2023.4.13~2023.10.12)

### 当ファンド

当ファンドは、「GIM・USハイ・イールド (ZARクラス)」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じて「GIM・USハイ・イールド (ZARクラス)」への投資割合を高位に維持しました。

### GIM・USハイ・イールド (ZARクラス)

主として米ドル建てのハイ・イールド債券を中心に投資し、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／南アフリカ・ランド買いの為替取引を行うことで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。ハイ・イールド債券の組み入れに際しては、引き続きボトムアップ分析に基づく個別銘柄選択を重視した運用を行いました。

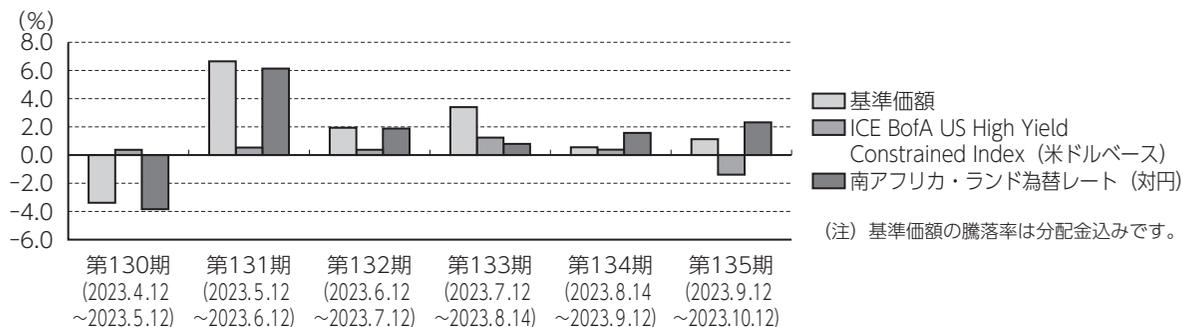
### ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第130期	第131期	第132期	第133期	第134期	第135期
	2023年4月13日 ～2023年5月12日	2023年5月13日 ～2023年6月12日	2023年6月13日 ～2023年7月12日	2023年7月13日 ～2023年8月14日	2023年8月15日 ～2023年9月12日	2023年9月13日 ～2023年10月12日
当期分配金（税込み）（円）	40	40	40	40	40	40
対基準価額比率（%）	0.83	0.78	0.78	0.76	0.76	0.75
当期の収益（円）	40	40	40	40	40	40
当期の収益以外（円）	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	2,214	2,219	2,225	2,236	2,241	2,248

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注4）投資信託の計上上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第130期	第131期	第132期	第133期	第134期	第135期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 45.00円	✓ 45.04円	✓ 45.78円	✓ 51.52円	✓ 44.96円	✓ 47.14円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	1,974.46	1,977.08	1,978.84	1,980.33	1,981.85	1,983.65
(d) 分配準備積立金	234.69	237.12	240.47	244.81	254.87	258.13
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	2,254.16	2,259.24	2,265.10	2,276.67	2,281.69	2,288.93
(f) 分配金	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	2,214.16	2,219.24	2,225.10	2,236.67	2,241.69	2,248.93

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

主として、「GIM・USハイ・イールド（ZARクラス）」への投資割合を高位に保つことにより、米ドル建てハイ・イールド債券からの収益のほか、南アフリカ・ランドの為替値上がり益や為替取引によるプレミアムの獲得をめざします。

### ■GIM・USハイ・イールド（ZARクラス）

主として米ドル建てのハイ・イールド債券に投資し、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／南アフリカ・ランド買いの為替取引を行うことで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。ハイ・イールド債券の組み入れに際しては、ボトムアップ分析に基づく個別銘柄選択を重視した運用を継続する方針です。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。



## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信/海外/債券	
信託期間	2012年7月6日~2025年10月10日	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	①ケイマン籍の外国投資信託「GIM トラストーUSハイ・イールド・ボンド・ファンド ZARクラス」(以下「GIM・USハイ・イールド (ZARクラス)」といいます。)の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネー・マザーファンド	本邦通貨表示の公社債
当ファンドの運用方法	①主として、GIM・USハイ・イールド (ZARクラス) の受益証券を通じて、米ドル建てのハイ・イールド債券に投資し、米ドル建ての資産に対して米ドル売り/南アフリカ・ランド買いの為替取引を行ない、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②当ファンドは、GIM・USハイ・イールド (ZARクラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、GIM・USハイ・イールド (ZARクラス) への投資割合を信託財産の純資産総額の90%程度以上とすることを基本とします。 ③GIM・USハイ・イールド (ZARクラス) では、米ドル建ての資産に対して米ドル売り/南アフリカ・ランド買いの為替取引を行ないます。	
マザーファンドの運用方法	①わが国の公社債を中心に安定運用を行ないます。 ②邦貨建資産の組み入れにあたっては、取得時に第二位 (A-2格相当) 以上の短期格付であり、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないことがあります。また、第1および第2計算期末には、収益の分配は行ないません。	

Source ICE Data Indices, LLC is used with permission. ICE® is a registered trademark of ICE Data Indices, LLC or its affiliates and BofA® is a registered trademark of Bank of America Corporation licensed by Bank of America Corporation and its affiliates ("BofA"), and may not be used without BofA's prior written approval. The index data referenced herein is the property of ICE Data Indices, LLC, its affiliates ("ICE Data") and/or its third party suppliers and, along with the ICE BofA trademarks, has been licensed for use by Daiwa Asset Management Co. Ltd. ICE Data and its Third Party Suppliers accept no liability in connection with the use of such index data or marks. See [<https://www.daiwa-am.co.jp/funds/disclaimer/index.html>] for a full copy of the Disclaimer.

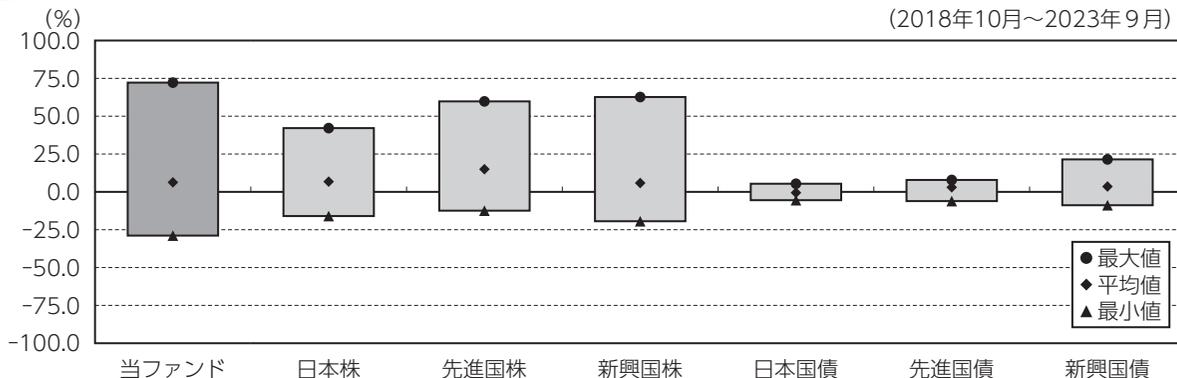
出所：ICE Data Indices, LLC (以下「ICEデータ」)

"ICE"はICEデータまたはその関連会社のサービス/トレードマークです。「BOFA®」は、Bank of America Corporationとその関連会社である「BOFA」の登録商標であり、BOFAの書面による事前承認なしに使用することはできません。本書で言及されているインデックスデータは、ICE BofAの登録商標と併せて、ICEデータ、その関連会社またはその第三者供給元の所有物であり、大和アセットマネジメント株式会社に対して使用許諾されています。ICEデータおよびその第三者供給元は、当該インデックスデータまたはマークの使用に関して、いかなる責任も負いません。免責事項の全文は [<https://www.daiwa-am.co.jp/funds/disclaimer/index.html>] をご覧ください。

In the event of any inconsistency between the English version and the Japanese version of this disclaimer, the English version shall prevail.



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	72.2	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
平均値	6.3	6.8	15.0	5.9	△0.6	3.0	3.5
最小値	△28.9	△16.0	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任を負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>）●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性、正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



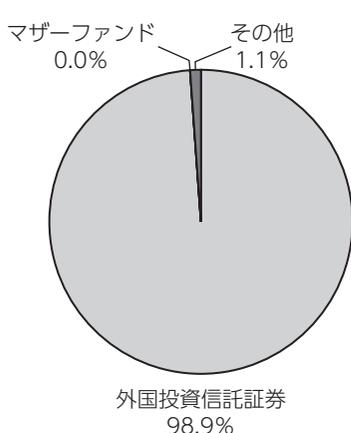
# ファンドデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

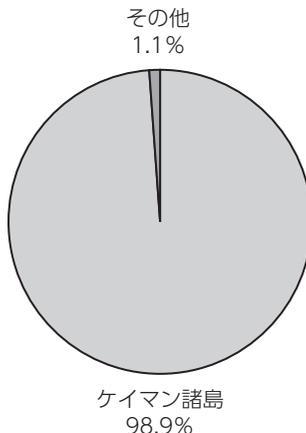
### 組入ファンド等

	比率
GIM・USハイ・イールド (ZARクラス)	98.9%
ダイワ・マネー・マザーファンド	0.0
その他	1.1

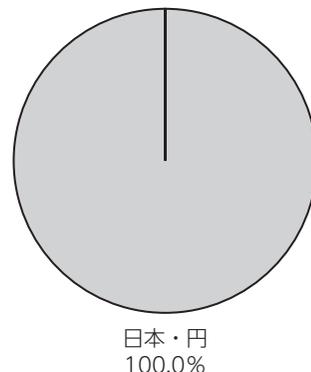
### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



(注1) 上記データは2023年10月12日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

## 純資産等

項 目	第130期末	第131期末	第132期末	第133期末	第134期末	第135期末
	2023年5月12日	2023年6月12日	2023年7月12日	2023年8月14日	2023年9月12日	2023年10月12日
純資産総額	28,408,845円	29,614,362円	30,153,447円	30,861,241円	30,961,764円	31,177,915円
受益権総口数	59,398,799口	58,518,942口	58,910,186口	58,751,573口	59,065,520口	59,259,216口
1万口当り基準価額	4,783円	5,061円	5,119円	5,253円	5,242円	5,261円

\* 当作成期間 (第130期～第135期) 中における追加設定元本額は2,662,121円、同解約元本額は2,273,152円です。

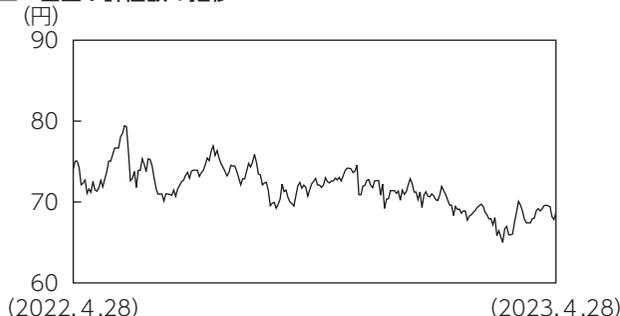
\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) でご覧いただけます。

## 組入上位ファンドの概要

### ◆GIM・USハイ・イールド（ZARクラス）（作成対象期間 2022年4月29日～2023年4月28日）

※直近で入手可能なFinancial Statements作成期間です。

#### ■1口当り評価額の推移



(注1) 1口当り評価額は、分配金を再投資したものとみなして計算しています。  
(注2) 国内の営業日の評価額を記載しています。

#### ■組入上位銘柄

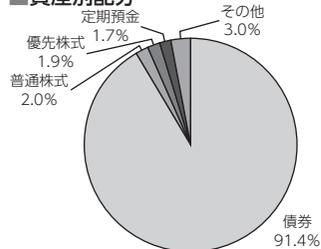
銘柄名	通貨	比率
Cooper-Standard Automotive, Inc. 13.50% due 03/31/27	米ドル	1.7%
Claire's Stores, Inc.	米ドル	1.6
Bausch Health Cos, Inc. 9.00% due 12/15/25	米ドル	1.3
CCO Holdings LLC / CCO Holdings Capital Corp. 5.13% due 05/01/27	米ドル	1.0
DISH DBS Corp. 5.88% due 11/15/24	米ドル	1.0
Tenet Healthcare Corp. 4.88% due 01/01/26	米ドル	0.9
Nexstar Media, Inc. 5.63% due 07/15/27	米ドル	0.9
CCO Holdings LLC / CCO Holdings Capital Corp. 4.25% due 02/01/31	米ドル	0.9
Albertsons Cos, Inc. / Safeway, Inc. / New Albertsons LP / Albertsons LLC 4.63% due 01/15/27	米ドル	0.8
Intelsat Jackson Holdings S.A. 6.50% due 03/15/30	米ドル	0.7
組入銘柄数		518銘柄

(注) 比率は純資産に対する比率です。

#### ■1口当りの費用の明細

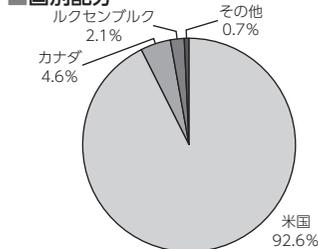
当ファンドの単位口数当りの費用のデータは取得できないため、記載しておりません。

#### ■資産別配分



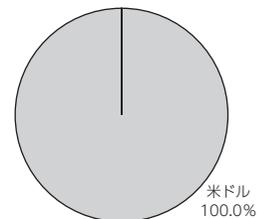
(注) 比率は純資産に対する比率です。

#### ■国別配分



(注) 比率は投資総額に対する比率です。

#### ■通貨別配分



(注1) 比率は投資総額に対する比率です。  
(注2) ファンドの保有米ドル建資産に対して、米ドル売り／南アフリカ・ランド買いの為替取引を行っています。

\* 組入上位銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、作成対象期間末時点のデータです。

\* 組入上位銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、「GIM・USハイ・イールド」の運用会社等からの情報提供をもとに作成したものであり、運用報告書（全体版）の情報とは異なる場合があります。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

### ◆ダイワ・マネー・マザーファンド（作成対象期間 2021年12月10日～2022年12月9日）

13ページをご参照ください。

# ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ～ハイイールドファンド～ トルコ・リラ・コース (毎月分配型)

&lt;5731&gt;

追加型投信／海外／債券  
日経新聞掲載名：米高利債リラ

第130期	2023年5月12日決算	第133期	2023年8月14日決算
第131期	2023年6月12日決算	第134期	2023年9月12日決算
第132期	2023年7月12日決算	第135期	2023年10月12日決算

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米ドル建ての高金利社債に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第135期末	基準価額	1,458円
	純資産総額	202百万円
第130期～第135期	騰落率	△4.6%
	分配金合計	60円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先

 コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)  
**0120-106212**

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

**UD  
FONT**

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

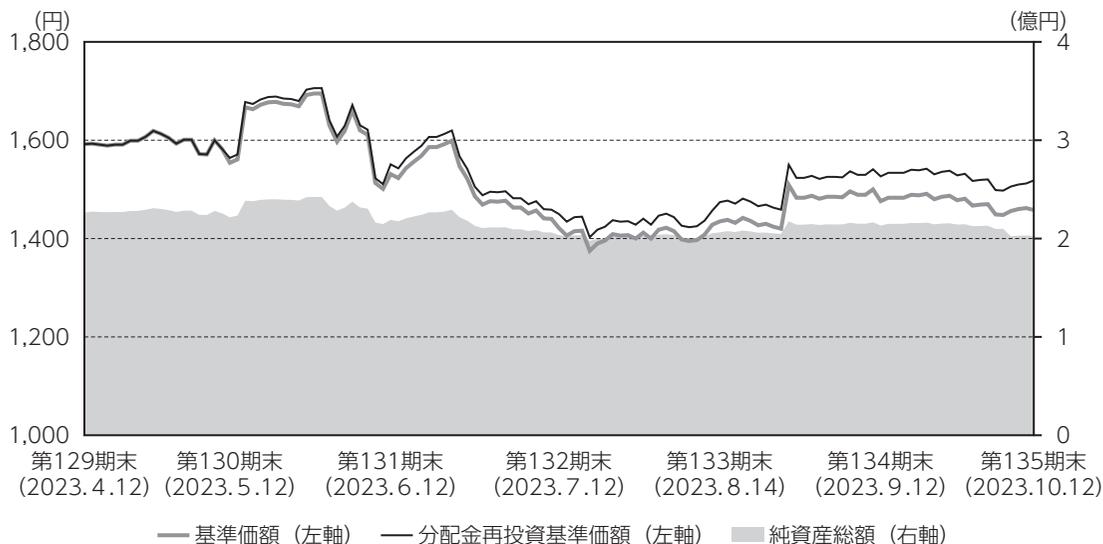
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- \* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- \* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

### 基準価額・騰落率

第130期首：1,592円

第135期末：1,458円（既払分配金60円）

騰落率：△4.6%（分配金再投資ベース）

### 基準価額の主な変動要因

「GIM・USハイ・イールド（TRYクラス）」への投資を通じて、米ドル建てのハイ・イールド債券に投資し、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／トルコ・リラ買いの為替取引を行いました。ハイ・イールド債券価格の上昇や債券からの利息収入、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）がプラス要因となりましたが、トルコ・リラが対円で下落（円高）したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※GIM・USハイ・イールド（TRYクラス）：GIM トラストーUSハイ・イールド・ボンド・ファンド TRYクラス

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第130期～第135期 (2023.4.13～2023.10.12)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	9円	0.587%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は1,513円です。
(投 信 会 社)	(3)	(0.217)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(5)	(0.355)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(0)	(0.015)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	－	－	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	9	0.590	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

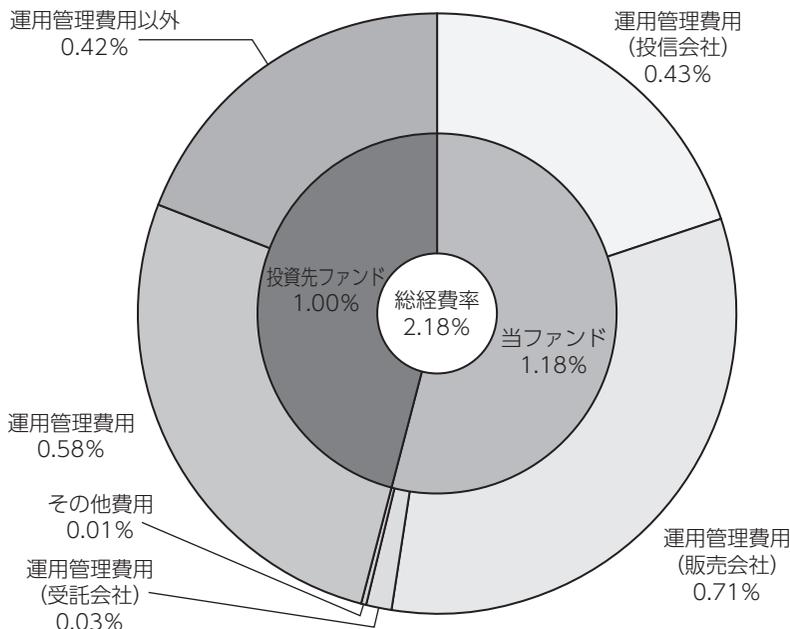
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.18%です。



総経費率 (①+②+③)	2.18%
①当ファンドの費用の比率	1.18%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.58%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.42%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

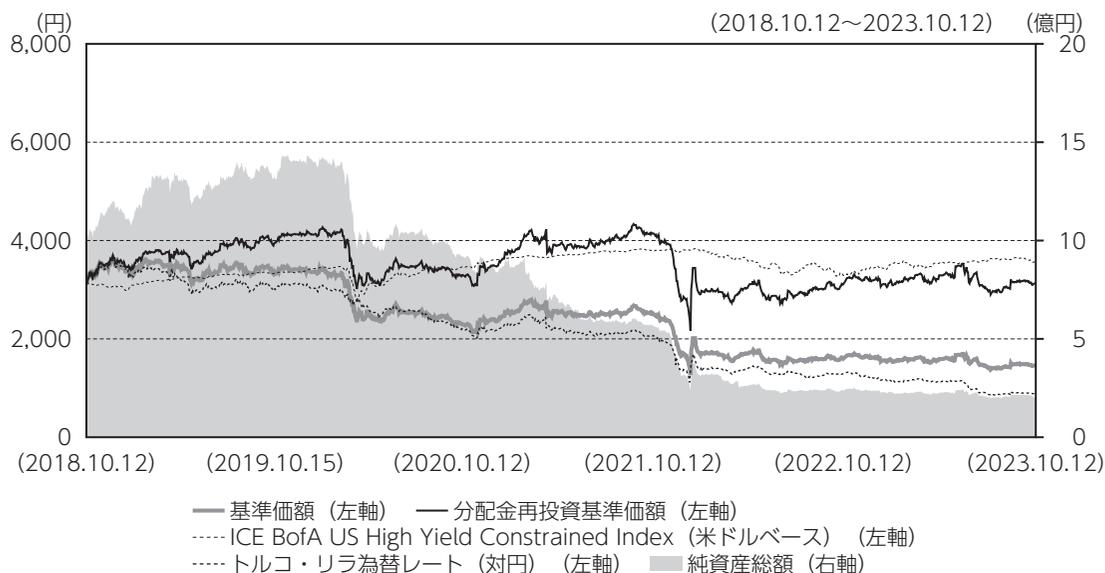
(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2018年10月12日の基準価額をもとに指数化したものです。

\*参考指数はICE BofA US High Yield Constrained Index (米ドルベース) およびトルコ・リラ為替レート (対円) です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

	2018年10月12日 期初	2019年10月15日 決算日	2020年10月12日 決算日	2021年10月12日 決算日	2022年10月12日 決算日	2023年10月12日 決算日
基準価額 (円)	3,112	3,321	2,297	2,502	1,598	1,458
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	600	520	360	270	160
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	27.2	△16.7	25.6	△25.0	1.1
ICE BofA US High Yield Constrained Index (米ドルベース) 騰落率 (%)	—	7.3	3.7	9.7	△13.3	9.1
トルコ・リラ為替レート (対円) 騰落率 (%)	—	△3.5	△26.5	△6.2	△37.6	△31.5
純資産総額 (百万円)	979	1,312	917	563	236	202

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) ICE BofA US High Yield Constrained Index (米ドルベース) 騰落率は、ICE BofA US High Yield Constrained Index (米ドルベース) の原データをもとに、大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は最近で知り得るデータを使用しております。

## 投資環境について

(2023.4.13~2023.10.12)

### ■米国ハイ・イールド債券市況

米国ハイ・イールド債券市況は上昇しました。

米国ハイ・イールド債券市況は、当作成期首から2023年5月下旬にかけて、F R B（米国連邦準備制度理事会）による利上げの実施や早期の引き締め終了期待のはく落により下落しました。その後、7月中旬にかけては、米国の債務上限問題が解決したことや経済指標で米国経済の底堅さが確認されたことなどを背景にリスク選好姿勢が強まり上昇しました。しかし8月中旬にかけては、米国国債の増発や格下げが嫌気されたことから市況は下落しました。9月中旬にかけては、懸念されていたジャクソンホール会議でのF R B議長公演を無難に通過したことや軟調な経済指標を受けて利上げ期待が後退したことから上昇しました。当作成期末にかけては、F R Bによる金融引き締め環境の長期化などが嫌気され、市況は下落しました。

### ■為替相場

トルコ・リラ為替相場は、対円で下落しました。

トルコ・リラの対円為替相場は、当作成期首から2023年5月末にかけてほぼ横ばいで推移しましたが、その後7月中旬にかけては、シムシェキ財務相が為替相場への介入を緩和するようトルコ中央銀行に要請したとの報道や、トルコで高インフレが続き実質金利がマイナスとなっていることなどから、下落しました。その後はやや値を戻して当作成期末を迎えました。

### ■短期金利市況

トルコ中央銀行は政策金利である1週間物レポ金利を21.50%ポイント引き上げ、30.0%としました。F R B（米国連邦準備制度理事会）は政策金利の誘導目標レンジを0.50%ポイント引き上げ、5.25~5.50%としました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

主として、「G I M・USハイ・イールド（TRYクラス）」への投資割合を高位に保つことによつて、米ドル建てハイ・イールド債券からの収益のほか、トルコ・リラの為替値上がり益や為替取引によるプレミアムの獲得をめざします。

### ■G I M・USハイ・イールド（TRYクラス）

主として米ドル建てのハイ・イールド債券に投資し、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／トルコ・リラ買いの為替取引を行うことで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。ハイ・イールド債券の組み入れに際しては、ボトムアップ分析に基づく個別銘柄選択を重視した運用を継続する方針です。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2023.4.13~2023.10.12)

### ■当ファンド

当ファンドは、「GIM・USハイ・イールド（TRYクラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じて「GIM・USハイ・イールド（TRYクラス）」への投資割合を高位に維持しました。

### ■GIM・USハイ・イールド（TRYクラス）

主として米ドル建てのハイ・イールド債券を中心に投資し、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／トルコ・リラ買いの為替取引を行うことで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。ハイ・イールド債券の組み入れに際しては、引き続きボトムアップ分析に基づく個別銘柄選択を重視した運用を行いました。

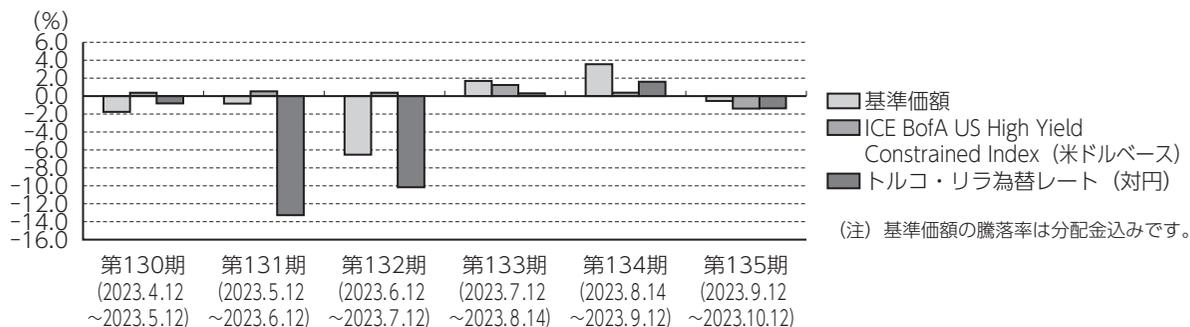
### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第130期	第131期	第132期	第133期	第134期	第135期
	2023年4月13日 ～2023年5月12日	2023年5月13日 ～2023年6月12日	2023年6月13日 ～2023年7月12日	2023年7月13日 ～2023年8月14日	2023年8月15日 ～2023年9月12日	2023年9月13日 ～2023年10月12日
<b>当期分配金（税込み）（円）</b>	<b>10</b>	<b>10</b>	<b>10</b>	<b>10</b>	<b>10</b>	<b>10</b>
対基準価額比率（%）	0.64	0.65	0.70	0.69	0.67	0.68
当期の収益（円）	10	10	10	10	10	10
当期の収益以外（円）	-	-	-	-	-	-
翌期繰越分配対象額（円）	3,252	3,262	3,278	3,291	3,308	3,338

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第130期	第131期	第132期	第133期	第134期	第135期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 16.92円	✓ 20.01円	✓ 25.48円	✓ 23.00円	✓ 27.38円	✓ 40.02円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	2,944.20	2,945.28	2,947.70	2,949.03	2,951.04	2,952.55
(d) 分配準備積立金	301.57	307.41	315.02	329.18	340.20	356.12
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	3,262.70	3,272.72	3,288.21	3,301.23	3,318.63	3,348.70
(f) 分配金	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	3,252.70	3,262.72	3,278.21	3,291.23	3,308.63	3,338.70

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

主として、「GIM・USハイ・イールド（TRYクラス）」への投資割合を高位に保つことによって、米ドル建てハイ・イールド債券からの収益のほか、トルコ・リラの為替値上がり利益や為替取引によるプレミアムの獲得をめざします。

### ■GIM・USハイ・イールド（TRYクラス）

主として米ドル建てのハイ・イールド債券に投資し、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／トルコ・リラ買いの為替取引を行うことで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。ハイ・イールド債券の組み入れに際しては、ボトムアップ分析に基づく個別銘柄選択を重視した運用を継続する方針です。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。



## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2012年7月6日～2025年10月10日	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。	
主要投資対象	当ファンド	①ケイマン籍の外国投資信託「GIM トラストーUSハイ・イールド・ボンド・ファンド TRYクラス」(以下「GIM・USハイ・イールド (TRYクラス)」) といひます。) の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネー・マザーファンド	本邦通貨表示の公社債
当ファンドの運用方法	①主として、GIM・USハイ・イールド (TRYクラス) の受益証券を通じて、米ドル建てのハイ・イールド債券に投資し、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／トルコ・リラ買ひの為替取引を行ない、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。 ②当ファンドは、GIM・USハイ・イールド (TRYクラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態では、GIM・USハイ・イールド (TRYクラス) への投資割合を信託財産の純資産総額の90%程度以上とすることを基本とします。 ③GIM・USハイ・イールド (TRYクラス) では、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／トルコ・リラ買ひの為替取引を行いません。	
マザーファンドの運用方法	①わが国の公社債を中心に安定運用を行いません。 ②邦貨建資産の組み入れにあたっては、取得時に第二位 (A-2格相当) 以上の短期格付であり、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないことがあります。また、第1および第2計算期末には、収益の分配は行ないません。	

Source ICE Data Indices, LLC is used with permission. ICE® is a registered trademark of ICE Data Indices, LLC or its affiliates and BofA® is a registered trademark of Bank of America Corporation licensed by Bank of America Corporation and its affiliates ("BofA"), and may not be used without BofA's prior written approval. The index data referenced herein is the property of ICE Data Indices, LLC, its affiliates ("ICE Data") and/or its third party suppliers and, along with the ICE BofA trademarks, has been licensed for use by Daiwa Asset Management Co. Ltd. ICE Data and its Third Party Suppliers accept no liability in connection with the use of such index data or marks. See [<https://www.daiwa-am.co.jp/funds/disclaimer/index.html>] for a full copy of the Disclaimer.

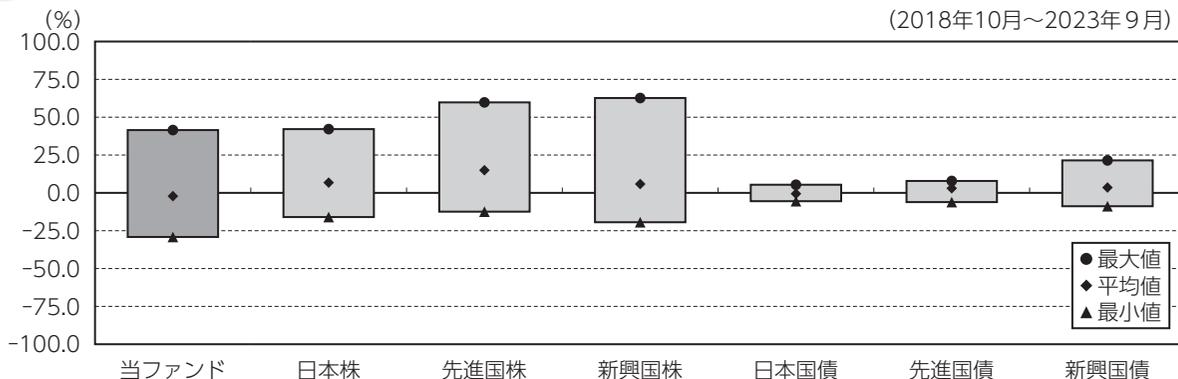
出所：ICE Data Indices, LLC (以下「ICEデータ」)

"ICE"はICEデータまたはその関連会社のサービス／トレードマークです。「BOFA®」は、Bank of America Corporationとその関連会社である「BOFA」の登録商標であり、BOFAの書面による事前承認なしに使用することはできません。本書で言及されているインデックスデータは、ICE BofAの登録商標と併せて、ICEデータ、その関連会社またはその第三者供給元の所有物であり、大和アセットマネジメント株式会社に対して使用許諾されています。ICEデータおよびその第三者供給元は、当該インデックスデータまたはマークの使用に関して、いかなる責任も負いません。免責事項の全文は [<https://www.daiwa-am.co.jp/funds/disclaimer/index.html>] をご覧ください。

In the event of any inconsistency between the English version and the Japanese version of this disclaimer, the English version shall prevail.



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	41.5	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
平均値	△2.2	6.8	15.0	5.9	△0.6	3.0	3.5
最小値	△29.1	△16.0	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………J.P. Morgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる商標または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる商標または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>）●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●J.P. Morgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



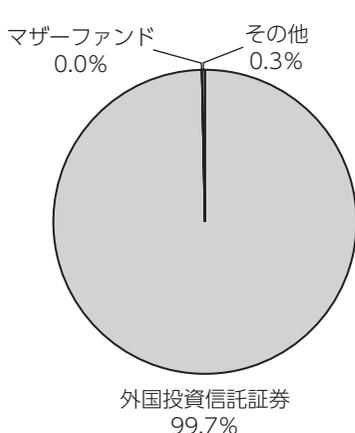
# ファンドデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

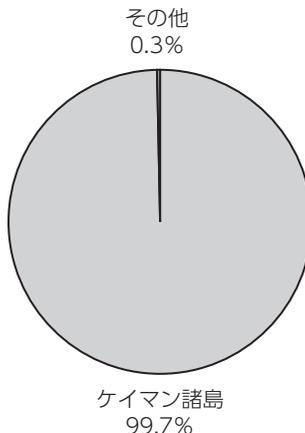
### 組入ファンド等

	比率
GIM・USハイ・イールド（TRYクラス）	99.7%
ダイワ・マネー・マザーファンド	0.0
その他	0.3

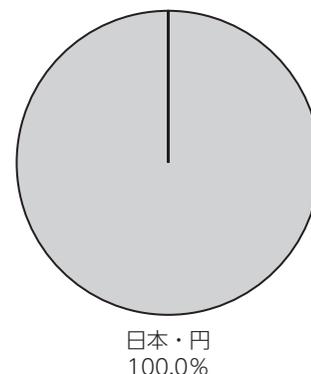
### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



(注1) 上記データは2023年10月12日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

## 純資産等

項 目	第130期末	第131期末	第132期末	第133期末	第134期末	第135期末
	2023年5月12日	2023年6月12日	2023年7月12日	2023年8月14日	2023年9月12日	2023年10月12日
純資産総額	221,617,678円	219,003,832円	203,488,558円	206,334,847円	213,237,341円	202,574,308円
受益権総口数	1,426,246,610口	1,430,203,867口	1,432,110,794口	1,437,762,614口	1,444,388,322口	1,389,691,519口
1万口当り基準価額	1,554円	1,531円	1,421円	1,435円	1,476円	1,458円

\* 当作成期間（第130期～第135期）中における追加設定元本額は41,336,047円、同解約元本額は74,185,258円です。

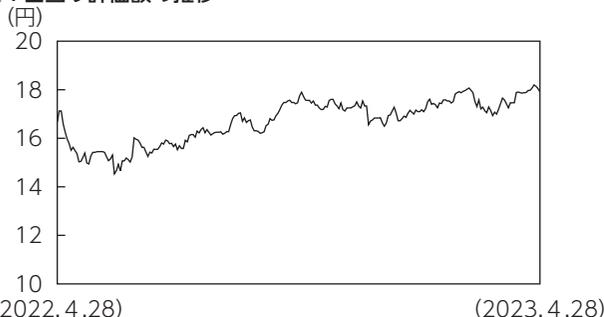
\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

## 組入上位ファンドの概要

### ◆GIM・USハイ・イールド（TRYクラス）（作成対象期間 2022年4月29日～2023年4月28日）

※直近で入手可能なFinancial Statements作成期間です。

#### ■1口当り評価額の推移



(注1) 1口当り評価額は、分配金を再投資したものとみなして計算しています。  
 (注2) 国内の営業日の評価額を記載しています。

#### ■組入上位銘柄

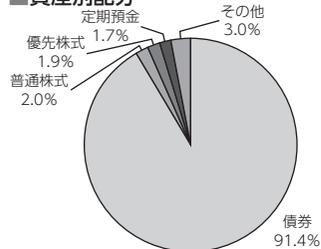
銘柄名	通貨	比率
Cooper-Standard Automotive, Inc. 13.50% due 03/31/27	米ドル	1.7%
Claire's Stores, Inc.	米ドル	1.6
Bausch Health Cos, Inc. 9.00% due 12/15/25	米ドル	1.3
CCO Holdings LLC / CCO Holdings Capital Corp. 5.13% due 05/01/27	米ドル	1.0
DISH DBS Corp. 5.88% due 11/15/24	米ドル	1.0
Tenet Healthcare Corp. 4.88% due 01/01/26	米ドル	0.9
Nexstar Media, Inc. 5.63% due 07/15/27	米ドル	0.9
CCO Holdings LLC / CCO Holdings Capital Corp. 4.25% due 02/01/31	米ドル	0.9
Albertsons Cos, Inc. / Safeway, Inc. / New Albertsons LP / Albertsons LLC 4.63% due 01/15/27	米ドル	0.8
Intelsat Jackson Holdings S.A. 6.50% due 03/15/30	米ドル	0.7
組入銘柄数		518銘柄

(注) 比率は純資産に対する比率です。

#### ■1口当りの費用の明細

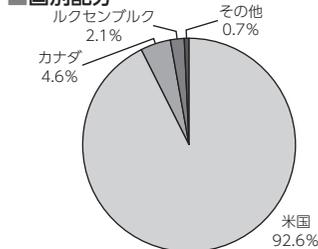
当ファンドの単位口数当りの費用のデータは取得できないため、記載しておりません。

#### ■資産別配分



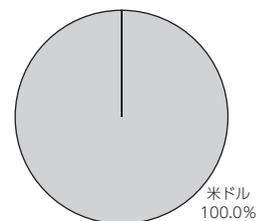
(注) 比率は純資産に対する比率です。

#### ■国別配分



(注) 比率は投資総額に対する比率です。

#### ■通貨別配分



(注1) 比率は投資総額に対する比率です。  
 (注2) ファンドの保有米ドル建資産に対して、米ドル売り/トルコ・リラ買いの為替取引を行っています。

\*組入上位銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、作成対象期間末時点のデータです。

\*組入上位銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、「GIM・USハイ・イールド」の運用会社等からの情報提供をもとに作成したものであり、運用報告書（全体版）の情報とは異なる場合があります。

\*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

### ◆ダイワ・マネー・マザーファンド（作成対象期間 2021年12月10日～2022年12月9日）

13ページをご参照ください。

# ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ～ハイイールドファンド～ 通貨セレクト・コース (毎月分配型)

&lt;5732&gt;

追加型投信／海外／債券  
日経新聞掲載名：米高利債通セ

第130期	2023年5月12日決算	第133期	2023年8月14日決算
第131期	2023年6月12日決算	第134期	2023年9月12日決算
第132期	2023年7月12日決算	第135期	2023年10月12日決算

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米ドル建ての高金利社債に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第135期末	基準価額	3,681円
	純資産総額	245百万円
第130期～第135期	騰落率	10.1%
	分配金合計	300円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先

 コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)  
**0120-106212**

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

**UD  
FONT**

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

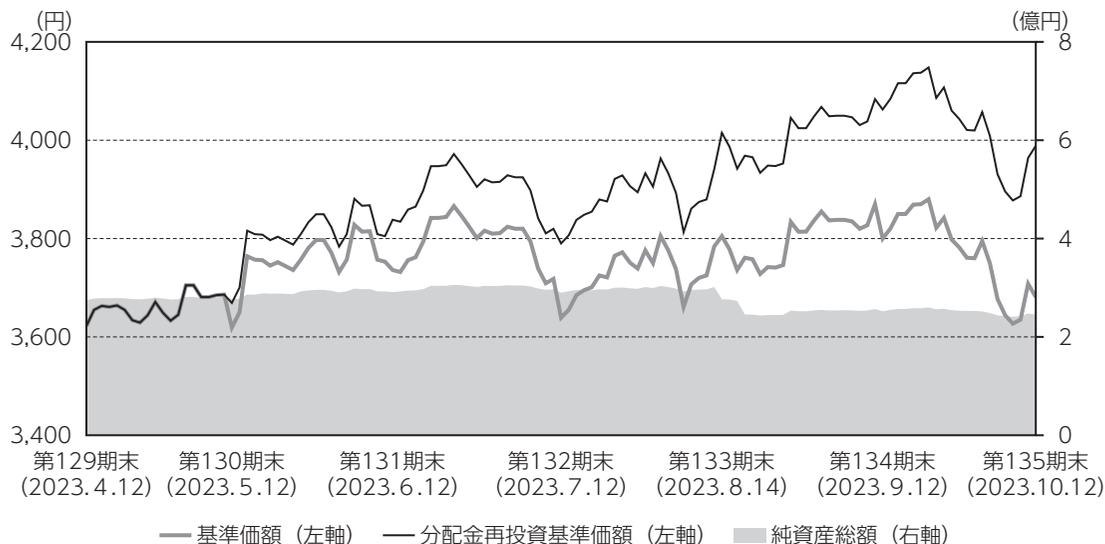
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- \* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- \* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

第130期首：3,622円

第135期末：3,681円（既払分配金300円）

騰落率：10.1%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の主な変動要因

「GIM・USハイ・イールド（通貨セレクト・クラス）」への投資を通じて、米ドル建てのハイ・イールド債券に投資し、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を行いました。選定通貨が対円でおおむね上昇（円安）したことやハイ・イールド債券価格の上昇、債券からの利息収入、選定通貨の為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）等がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※GIM・USハイ・イールド（通貨セレクト・クラス）：GIM トラストーUSハイ・イールド・ボンド・ファンド 通貨セレクト・クラス

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第130期～第135期 (2023.4.13～2023.10.12)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	22円	0.591%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は3,754円です。
(投 信 会 社)	(8)	(0.218)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(13)	(0.356)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	－	－	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	22	0.594	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

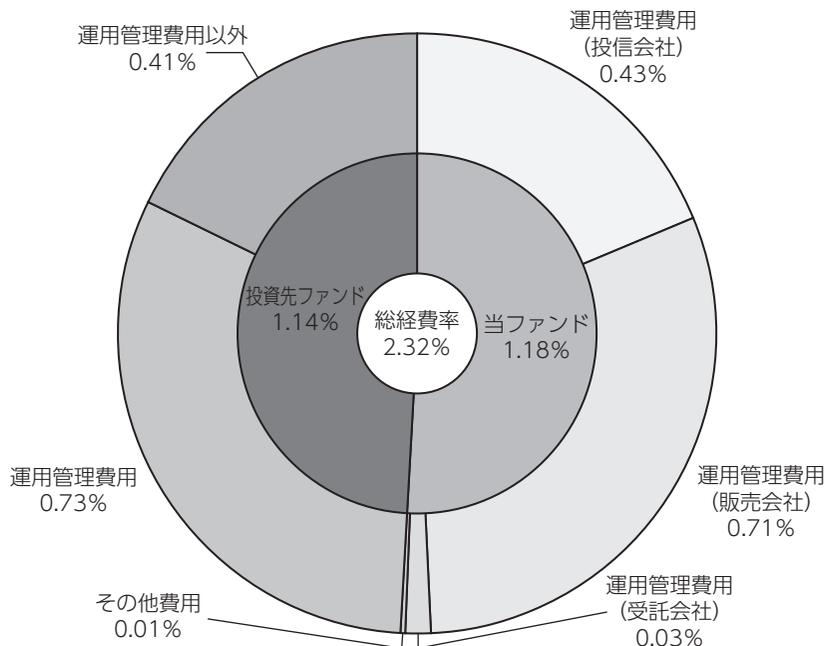
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.32%です。



総経費率 (①+②+③)	2.32%
①当ファンドの費用の比率	1.18%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.73%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.41%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2018年10月12日の基準価額をもとに指数化したものです。

\*参考指数はICE BofA US High Yield Constrained Index（米ドルベース）です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

		2018年10月12日 期初	2019年10月15日 決算日	2020年10月12日 決算日	2021年10月12日 決算日	2022年10月12日 決算日	2023年10月12日 決算日
基準価額	(円)	4,522	4,575	3,779	4,274	3,551	3,681
期間分配金合計（税込み）	(円)	—	680	600	600	600	600
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	17.0	△4.2	30.3	△2.5	22.1
ICE BofA US High Yield Constrained Index（米ドルベース）騰落率	(%)	—	7.3	3.7	9.7	△13.3	9.1
純資産総額	(百万円)	700	673	491	374	233	245

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) ICE BofA US High Yield Constrained Index（米ドルベース）騰落率は、ICE BofA US High Yield Constrained Index（米ドルベース）の原データをもとに、大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

## 投資環境について

(2023.4.13~2023.10.12)

### ■米国ハイ・イールド債券市況

米国ハイ・イールド債券市況は上昇しました。

米国ハイ・イールド債券市況は、当作成期首から2023年5月下旬にかけて、F R B（米国連邦準備制度理事会）による利上げの実施や早期の引き締め終了期待のはく落により下落しました。その後、7月中旬にかけては、米国の債務上限問題が解決したことや経済指標で米国経済の底堅さが確認されたことなどを背景にリスク選好姿勢が強まり上昇しました。しかし8月中旬にかけては、米国国債の増発や格下げが嫌気されたことから市況は下落しました。9月中旬にかけては、懸念されていたジャクソンホール会議でのF R B議長公演を無難に通過したことや軟調な経済指標を受けて利上げ期待が後退したことから上昇しました。当作成期末にかけては、F R Bによる金融引き締め環境の長期化などが嫌気され、市況は下落しました。

### ■為替相場

選定通貨（※）は対円でおおむね上昇しました。

当作成期においての選定通貨の値動きは、ハンガリー・フォリント、コロンビア・ペソ、メキシコ・ペソ、ブラジル・リアルが対円で上昇しました。一方で、トルコ・リラが対円で下落（円高）しました。

※選定通貨とは、投資対象とする外国投資信託の投資顧問会社が選定する通貨をいいます。

原則として、F T S E世界国債インデックスおよびJ P モルガン ガバメント・ボンド・インデックスーエマーシング・マーケットズ ブロードの構成国の通貨の中から、金利が高い順に5つの通貨を選定します。

### ■短期金利市況

F R B（米国連邦準備制度理事会）は政策金利の誘導目標レンジを0.50%ポイント引き上げ、5.25～5.50%としました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

主として、「G I M・USハイ・イールド（通貨セレクト・クラス）」への投資割合を高位に保つことによって、米ドル建てハイ・イールド債券からの収益のほか、選定通貨の為替値上がり益や為替取引によるプレミアムの獲得をめざします。

### ■G I M・USハイ・イールド（通貨セレクト・クラス）

主として米ドル建てのハイ・イールド債券に投資し、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を行うことで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。ハイ・イールド債券の組み入れに際しては、ボトムアップ分析に基づく個別銘柄選択を重視した運用を継続する方針です。

## ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2023.4.13~2023.10.12)

## ■当ファンド

当ファンドは、「GIM・USハイ・イールド（通貨セレクト・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じて「GIM・USハイ・イールド（通貨セレクト・クラス）」への投資割合を高位に維持しました。

## ■GIM・USハイ・イールド（通貨セレクト・クラス）

主として米ドル建てのハイ・イールド債券を中心に投資し、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を行うことで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。ハイ・イールド債券の組み入れに際しては、引き続きボトムアップ分析に基づく個別銘柄選択を重視した運用を行いました。

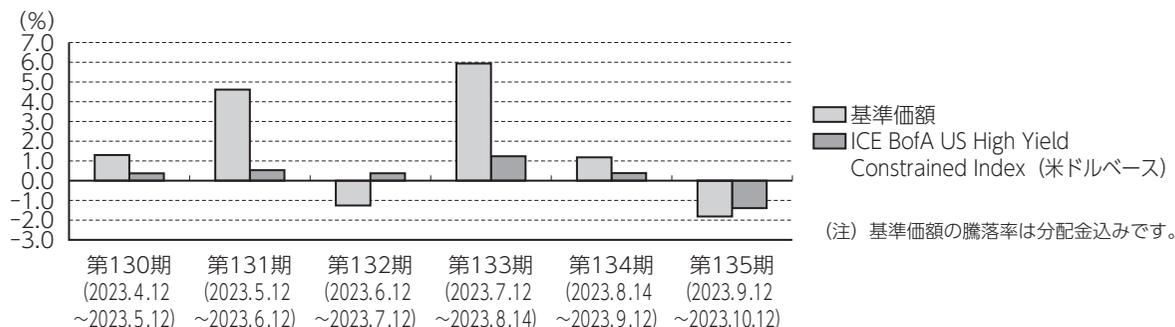
## ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第130期	第131期	第132期	第133期	第134期	第135期
	2023年4月13日 ～2023年5月12日	2023年5月13日 ～2023年6月12日	2023年6月13日 ～2023年7月12日	2023年7月13日 ～2023年8月14日	2023年8月15日 ～2023年9月12日	2023年9月13日 ～2023年10月12日
<b>当期分配金（税込み）（円）</b>	<b>50</b>	<b>50</b>	<b>50</b>	<b>50</b>	<b>50</b>	<b>50</b>
対基準価額比率（％）	1.36	1.32	1.36	1.30	1.30	1.34
当期の収益（円）	49	50	50	50	50	50
当期の収益以外（円）	0	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	2,238	2,240	2,245	2,255	2,264	2,283

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計上で、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第130期	第131期	第132期	第133期	第134期	第135期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 49.17円	✓ 52.07円	✓ 53.70円	✓ 59.86円	✓ 59.07円	✓ 67.81円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 2,239.64	2,238.89	2,239.30	2,239.49	2,240.03	2,241.62
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	2.01	5.67	15.19	23.67
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	2,288.82	2,290.96	2,295.02	2,305.02	2,314.30	2,333.11
(f) 分配金	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	2,238.82	2,240.96	2,245.02	2,255.02	2,264.30	2,283.11

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

主として、「GIM・USハイ・イールド（通貨セレクト・クラス）」への投資割合を高位に保つことによって、米ドル建てハイ・イールド債券からの収益のほか、選定通貨の為替値上がり益や為替取引によるプレミアムの獲得をめざします。

### ■GIM・USハイ・イールド（通貨セレクト・クラス）

主として米ドル建てのハイ・イールド債券に投資し、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を行うことで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。ハイ・イールド債券の組み入れに際しては、ボトムアップ分析に基づく個別銘柄選択を重視した運用を継続する方針です。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。



## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2012年7月6日～2025年10月10日	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	①ケイマン籍の外国投資信託「GIM トラストーUSハイ・イールド・ボンド・ファンド 通貨セレクト・クラス」(以下「GIM・USハイ・イールド(通貨セレクト・クラス)」)といひます。)の受益証券(円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネー・マザーファンド	本邦通貨表示の公社債
当ファンドの運用方法	①主として、GIM・USハイ・イールド(通貨セレクト・クラス)の受益証券を通じて、米ドル建てのハイ・イールド債券に投資し、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／選定通貨(※)買ひの為替取引を行ない、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ※当ファンドにおいて、選定通貨とは、投資対象とする外国投資信託の投資顧問会社が選定する通貨をいひます。なお、米ドルを選定する場合、米ドル部分に対する為替取引は行ないません。 ②当ファンドは、GIM・USハイ・イールド(通貨セレクト・クラス)とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、GIM・USハイ・イールド(通貨セレクト・クラス)への投資割合を信託財産の純資産総額の90%程度以上とすることを基本とします。 ③GIM・USハイ・イールド(通貨セレクト・クラス)では、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／選定通貨買ひの為替取引を行ないます。	
マザーファンドの運用方法	①わが国の公社債を中心に安定運用を行ないます。 ②邦貨建資産の組み入れにあたっては、取得時に第二位(A-2格相当)以上の短期格付であり、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないことがあります。また、第1および第2計算期末には、収益の分配は行ないません。	

Source ICE Data Indices, LLC is used with permission. ICE<sup>®</sup> is a registered trademark of ICE Data Indices, LLC or its affiliates and BofA<sup>®</sup> is a registered trademark of Bank of America Corporation licensed by Bank of America Corporation and its affiliates ("BofA"), and may not be used without BofA's prior written approval. The index data referenced herein is the property of ICE Data Indices, LLC, its affiliates ("ICE Data") and/or its third party suppliers and, along with the ICE BofA trademarks, has been licensed for use by Daiwa Asset Management Co. Ltd. ICE Data and its Third Party Suppliers accept no liability in connection with the use of such index data or marks. See [<https://www.daiwa-am.co.jp/funds/disclaimer/index.html>] for a full copy of the Disclaimer.

出所：ICE Data Indices, LLC (以下「ICEデータ」)

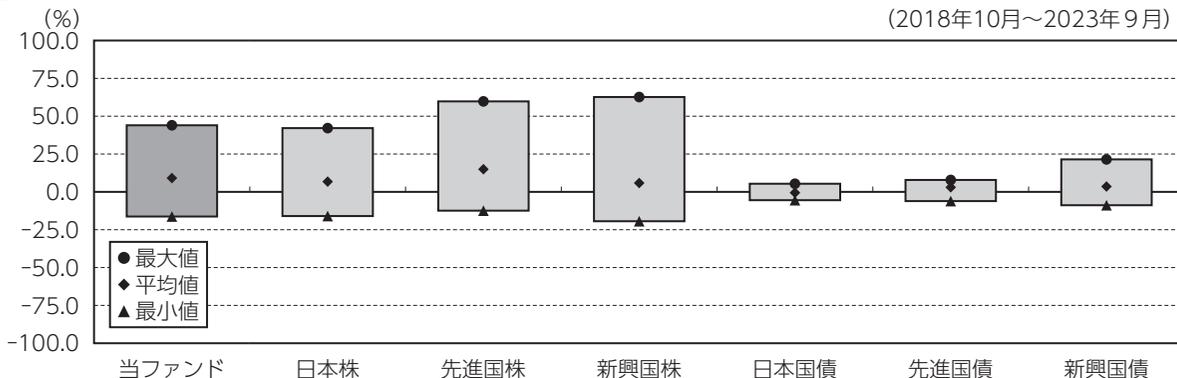
"ICE"はICEデータまたはその関連会社のサービス／トレードマークです。「BOFA<sup>®</sup>」は、Bank of America Corporationとその関連会社である「BOFA」の登録商標であり、BOFAの書面による事前承認なしに使用することはできません。本書で言及されているインデックスデータは、ICE BofAの登録商標と併せて、ICEデータ、その関連会社またはその第三者供給元の所有物であり、大和アセットマネジメント株式会社に対して使用許諾されています。ICEデータおよびその第三者供給元は、当該インデックスデータまたはマークの使用に関して、いかなる責任も負いません。免責事項の全文は [<https://www.daiwa-am.co.jp/funds/disclaimer/index.html>] をご覧ください。

In the event of any inconsistency between the English version and the Japanese version of this disclaimer, the English version shall prevail.



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2018年10月～2023年9月)



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	44.0	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
平均値	9.1	6.8	15.0	5.9	△0.6	3.0	3.5
最小値	△16.3	△16.0	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………J.P.モルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社J.P.X総研または株式会社J.P.X総研の関連会社（以下「J.P.X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJ.P.Xが有します。J.P.Xは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任を負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>）●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●J.P.モルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性、正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



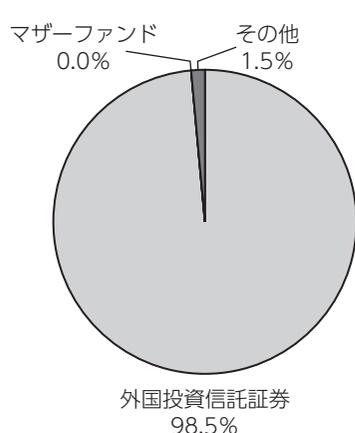
# ファンドデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

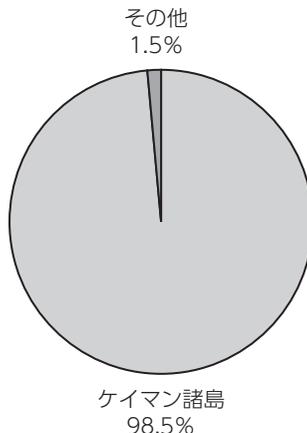
### 組入ファンド等

	比率
GIM・USハイ・イールド（通貨セレクト・クラス）	98.5%
ダイワ・マネー・マザーファンド	0.0%
その他	1.5%

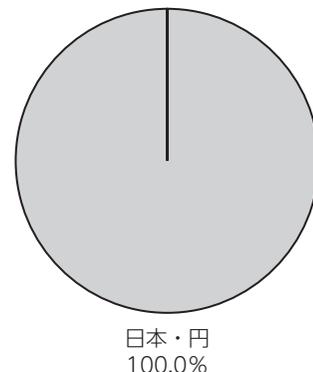
### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



(注1) 上記データは2023年10月12日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

## 純資産等

項 目	第130期末	第131期末	第132期末	第133期末	第134期末	第135期末
	2023年5月12日	2023年6月12日	2023年7月12日	2023年8月14日	2023年9月12日	2023年10月12日
純資産総額	276,887,152円	291,101,287円	289,853,524円	276,524,213円	252,064,873円	245,838,712円
受益権総口数	765,038,230口	779,149,795口	796,420,145口	726,664,225口	663,333,815口	667,864,474口
1万口当り基準価額	3,619円	3,736円	3,639円	3,805円	3,800円	3,681円

\* 当作成期間（第130期～第135期）中における追加設定元本額は93,032,361円、同解約元本額は182,178,432円です。

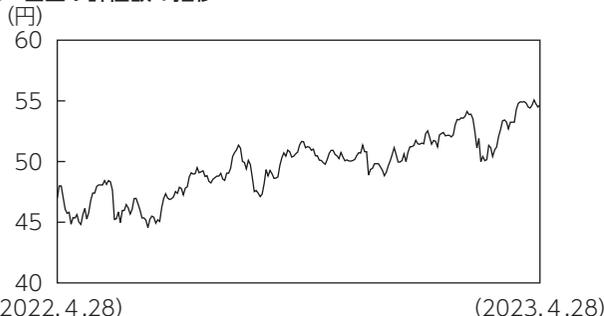
\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

## 組入上位ファンドの概要

### ◆GIM・USハイ・イールド（通貨セレクト・クラス）（作成対象期間 2022年4月29日～2023年4月28日）

※直近で入手可能なFinancial Statements作成期間です。

#### ■1口当り評価額の推移



(注1) 1口当り評価額は、分配金を再投資したものとみなして計算しています。  
 (注2) 国内の営業日の評価額を記載しています。

#### ■組入上位銘柄

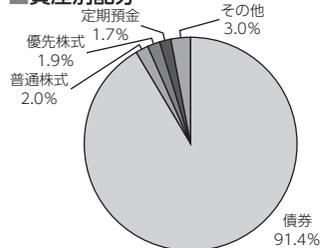
銘柄名	通貨	比率
Cooper-Standard Automotive, Inc. 13.50% due 03/31/27	米ドル	1.7%
Claire's Stores, Inc.	米ドル	1.6
Bausch Health Cos, Inc. 9.00% due 12/15/25	米ドル	1.3
CCO Holdings LLC / CCO Holdings Capital Corp. 5.13% due 05/01/27	米ドル	1.0
DISH DBS Corp. 5.88% due 11/15/24	米ドル	1.0
Tenet Healthcare Corp. 4.88% due 01/01/26	米ドル	0.9
Nexstar Media, Inc. 5.63% due 07/15/27	米ドル	0.9
CCO Holdings LLC / CCO Holdings Capital Corp. 4.25% due 02/01/31	米ドル	0.9
Albertsons Cos, Inc. / Safeway, Inc. / New Albertsons LP / Albertsons LLC 4.63% due 01/15/27	米ドル	0.8
Intelsat Jackson Holdings S.A. 6.50% due 03/15/30	米ドル	0.7
組入銘柄数		518銘柄

(注) 比率は純資産に対する比率です。

#### ■1口当りの費用の明細

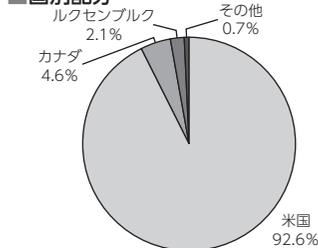
当ファンドの単位口数当りの費用のデータは取得できないため、記載しておりません。

#### ■資産別配分



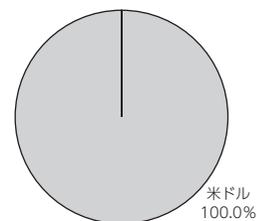
(注) 比率は純資産に対する比率です。

#### ■国別配分



(注) 比率は投資総額に対する比率です。

#### ■通貨別配分



(注1) 比率は投資総額に対する比率です。  
 (注2) ファンドの保有米ドル建資産に対して、米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を行っています。

\* 組入上位銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、作成対象期間末時点のデータです。

\* 組入上位銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、「GIM・USハイ・イールド」の運用会社等からの情報提供をもとに作成したものであり、運用報告書（全体版）の情報とは異なる場合があります。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

### ◆ダイワ・マネー・マザーファンド（作成対象期間 2021年12月10日～2022年12月9日）

13ページをご参照ください。

# Memo

大和アセットマネジメント

---

Daiwa Asset Management